
常総市
高齢者における生活支援に関する
調査結果報告書

平成 30 年 11 月

常総市高齢福祉課

目次

1. 調査の概要	2
(1) 調査実施の背景と目的	2
(2) 調査内容	2
(3) 調査結果に関する事項	4
2. 回答者に関する基本事項	6
(1) 性別・年齢	6
(2) 居住地域	7
(3) 健康状態	8
(4) 介護認定区分	9
(5) 世帯構成	10
(6) 同居者の介護認定区分、障がい者の手帳の保有状況	11
(7) 運転免許の保有状況	12
3. 買い物に関する現状	13
(1) 買い物のための外出の頻度・買い物時の同行者・時間帯	13
(2) 買い物でよく買う品目	16
(3) 最寄りの生鮮食品販売店に関する実態（店舗形態・自宅からの距離・利用状況等）	17
(4) 買い物時の移動手段	23
(5) 買い物時の困りごと、改善点等	24
4. 日常生活に関する現状	26
(1) 日常生活における外出の現状	26
(2) 日常生活上の困りごと・解決方法	30
(3) 日常生活の支援者の有無	33
(4) 日常生活や福祉に関する情報の入手先・改善点等	34
5. 常総市について	36
(1) 常総市の住みやすさ	36
6. 調査結果に基づく今後の施策の方向性（案）	37
(1) 調査結果から明らかとなった圏域ごとの特徴	37
(2) 施策の方向性に関する考え方	38
(3) 高齢者の買い物に関する施策の方向性	39
(4) 日常生活全般（買い物除く）に関する施策の方向性	40
7. 資料編	エラー！ブックマークが定義されていません。
(1) 自由記述	エラー！ブックマークが定義されていません。
(2) アンケート調査票	41

1. 調査の概要

(1) 調査実施の背景と目的

常総市では、平成 30 年 3 月に「常総市高齢者プラン（老人福祉計画改定・第 7 期介護保険事業計画）」を策定し、同計画において介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）を実施することとしている。

本調査は、総合事業の円滑かつ効果的な展開及び高齢者が安心して生活できる環境づくりを推進するため、市内の高齢者の日常生活に関する困りごとを把握することを目的として実施したものである。

(2) 調査内容

① 対 象 数：1,700 世帯

② 回 収 数：1,091（回収率：64.1%）、うち有効回答数 1,074

③ 調査方法：郵送による無記名アンケート方式

④ 実施期間：平成 30 年 9 月 21 日～平成 30 年 10 月 20 日

※平成 30 年 11 月 9 日返送分まで集計

⑤ 設問構成：ア) 回答者属性

性別・年齢・居住地・健康状態・介護認定区分・世帯構成・同居者の介護認定区分、障がい者手帳の保有状況・運転免許の有無等

イ) 買い物に関する現状

買い物のための外出の有無、買い物時の同行者、買い物場所・時間帯、よく買う品目、買い物時の移動手段、買い物時の困りごと、買い物環境の改善に必要なこと等

ウ) 日常生活全般に関する現状

病院や診療所への通院のための外出の頻度、買い物や通院以外で外出する場所、日常生活の困りごと・解決方法、日常生活の支援者の有無、日常生活や福祉に関する情報の入手方法、発信・充実を希望する情報等

エ) 常総市の住みやすさ

高齢者にとっての住みやすさ、その理由

⑥ 調査対象：以下の通り

対象者			世帯数	調査対象者に占める割合
ア) 75 歳以上の高齢者独居世帯 計※ 1			950	55.9%
介護度なし			755	44.4%
事業対象者			0	0.0%
要支援 1			46	2.7%
要支援 2			53	3.1%
要介護 1			96	5.6%
イ) 75 歳以上の高齢者のみ世帯 計※ 2			643	37.8%
3 人世帯（すべて介護度なし）			3	0.2%
2 人世帯			532	31.3%
介護度なし			492	28.9%
事業対象者			0	0.0%
要支援 1			6	0.4%
要支援 2			7	0.4%
要介護 1			27	1.6%
1 人該当世帯			108	6.4%
介護度なし			82	4.8%
事業対象者			1	0.1%
要支援 1			4	0.2%
要支援 2			11	0.6%
要介護 1			10	0.6%
ウ) 75 歳以上がいる世帯 計※ 3			107	6.3%
介護度なし			85	5.0%
事業対象者			0	0.0%
要支援 1			3	0.2%
要支援 2			2	0.1%
要介護 1			7	0.4%
要介護 2			6	0.4%
要介護 3			2	0.1%
要介護 4			1	0.1%
要介護 5			1	0.1%

※ 1：施設入所者を除く 75 歳以上の独居高齢者世帯 (全ての世帯)

※ 2：施設入所者を除く 75 歳以上の高齢者のみ世帯 (全ての世帯)

(「1 人該当世帯」は世帯構成員のうち、どちらか一方が入所している世帯)

※ 3：上記を除く 75 歳以上の高齢者がいる世帯から無作為抽出(調査対象世帯数からア、イ)の世帯数を除いた世帯数)

(3) 調査結果に関する事項

① クロス集計表の見方

		良い	まあまあ良い	あまり良くない	良くない	無効	無回答
全体 (N=1074)		18.4	59.5	17.0	3.1	0.3	1.7
性別	男性 (n=555)	19.3	58.7	17.3	2.0	0.4	2.3
	女性 (n=515)	17.7	60.4	16.7	4.1	0.2	1.0
年齢別	75歳～79歳 (n=449)	20.7	59.2	15.8	2.4	0.4	1.3
	80歳～84歳 (n=353)	18.7	58.9	17.3	3.1	0.0	2.0
	85歳～89歳 (n=192)	13.0	59.4	20.8	4.7	0.5	1.6
	90歳以上 (n=54)	14.8	63.0	16.7	3.7	0.0	1.9
居住地区別	水海道 (n=351)	20.8	59.3	18.5	1.1	0.0	0.3
	鬼怒 (n=109)	14.7	65.1	14.7	3.7	0.0	1.8
	水海道西 (北) (n=182)	24.2	56.0	14.3	3.3	0.5	1.6
	水海道西 (南) (n=109)	20.2	59.6	13.8	2.8	0.0	3.7
	石下 (n=234)	15.4	59.4	17.5	4.7	0.0	3.0
	石下西 (n=88)	8.0	60.2	22.7	5.7	2.3	1.1

全体集計：
各設問の回答を、単純集計した結果を表示。

クロス集計：
設問に応じて、年齢や居住地等の項目ごとに集計した結果を表示。

N：設問に対する回答者全体の数を表示。
n：設問に対する各項目の回答者の数を表示。

② 年齢別のクロス集計について

回答者の年齢別の回答結果については、「常総市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査および在宅介護実態調査報告書（平成 29 年 3 月）」との整合性を保つため、75～79 歳、80～84 歳、85～89 歳、90 歳以上の 4 つの項目に分けて集計した。

③ 地域別のクロス集計について

回答者の地域別の回答結果については、常総市の日常生活圏域にあわせて以下の 6 地域に分けて集計した。

区域設定	大字
水海道中学校区	水海道、大生
鬼怒中学校区	三妻、五箇
水海道西中学校北地区	豊岡、菅原、大花羽
水海道西中学校南地区	坂手、菅生、内守谷
石下中学校区	石下、豊田、玉
石下西中学校区	岡田、飯沼

※クロス集計表中の居住区域の表記は、以下の通り。

水海道中学校区→水海道

鬼怒中学校区→鬼怒

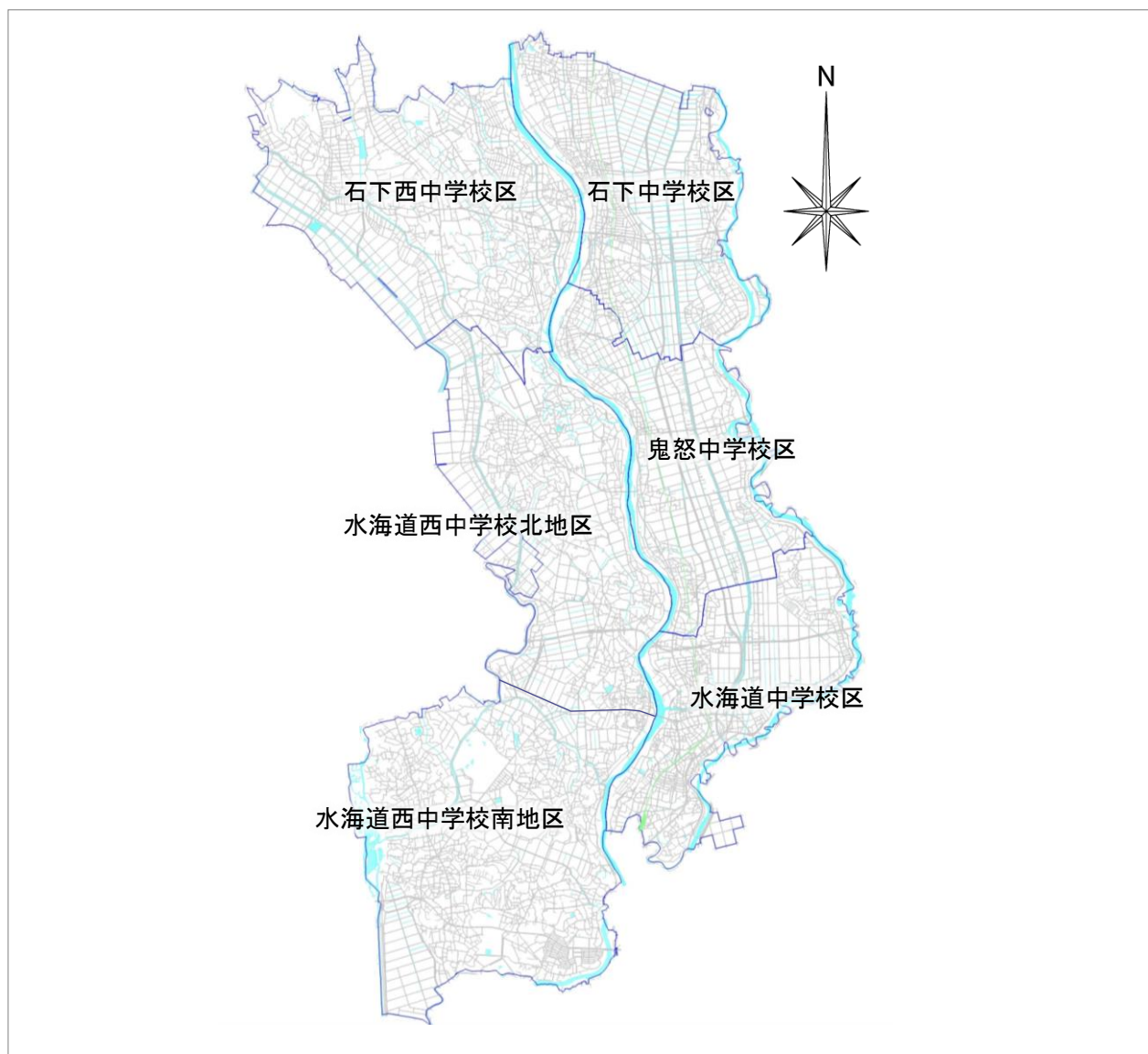
水海道西中学校北地区→水海道西（北）

水海道西中学校南地区→水海道西（南）

石下中学校区→石下

石下西中学校区→石下西

【参考】常総市内中学校区一覧



出典：常総市高齢福祉課

2. 回答者に関する基本事項

(1) 性別・年齢

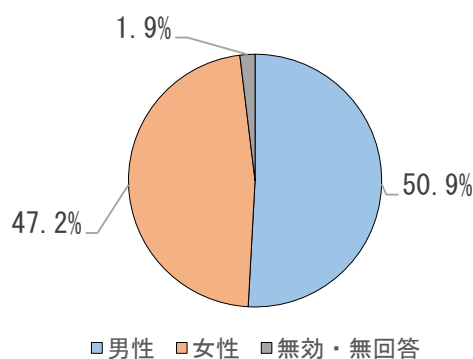
問1：あなたの性別をお答えください。

問2：あなたの年齢をお答えください（平成30年9月1日現在）

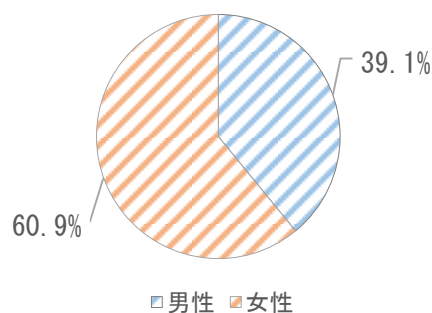
○回答者の性別は、男性が50.9%、女性が47.2%となっている。これは、本市の75歳以上の男女比より男性が若干高い傾向となっている。

○回答者の年齢は、77歳が11.1%と最も高く、次いで78歳が9.4%、80歳が7.9%となっている。これは、本市の75歳以上の市民の年齢構成とおおむね同様となっている。

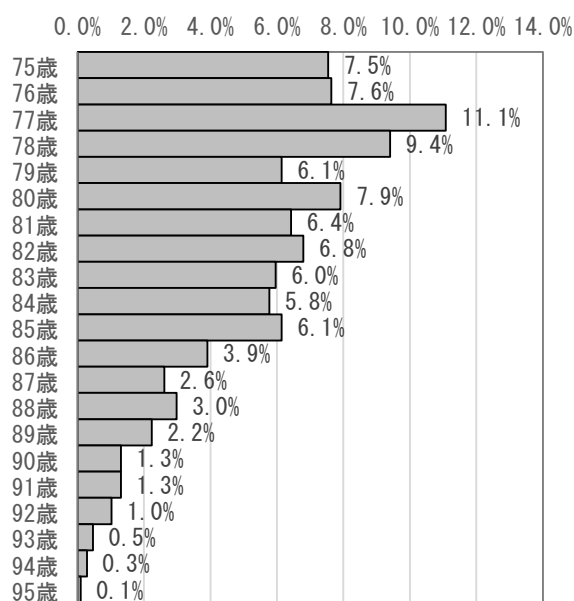
アンケート回答者の男女比
(N=1,091)



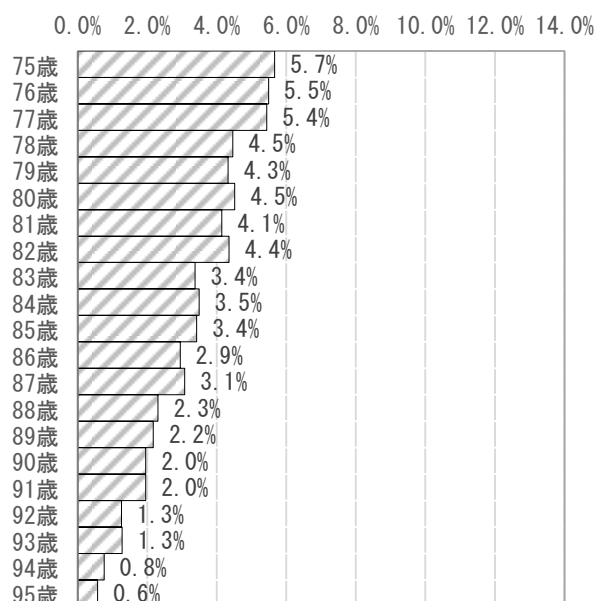
常総市における75歳以上の市民の
男女比
(N=8,488)



年齢別回答者割合



常総市における75歳以上の市民の
年齢別人口割合※



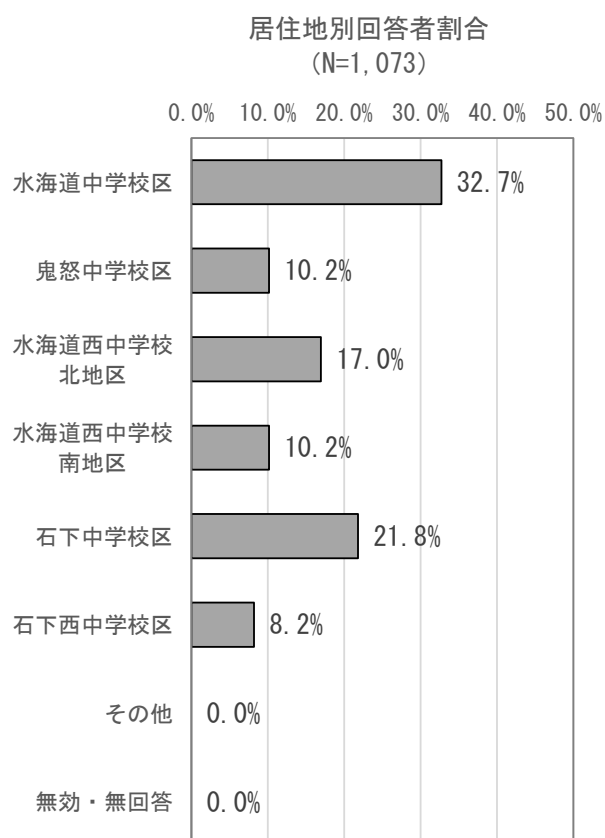
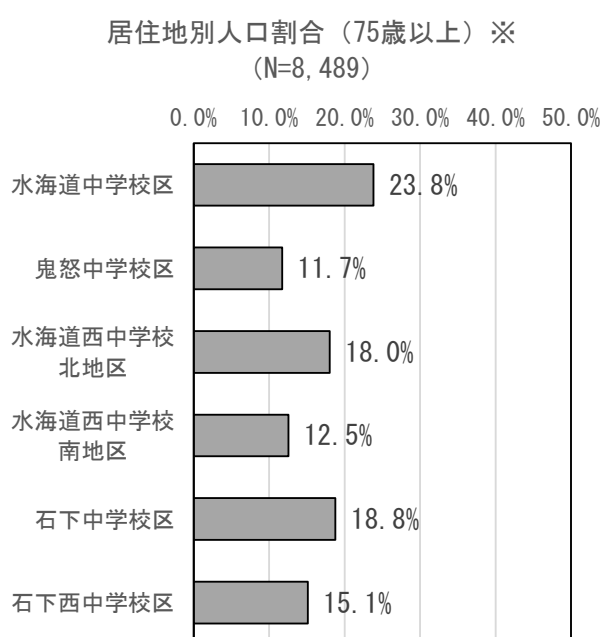
※出典：常総市住民基本台帳地区別・年齢別（平成30年4月1日現在）

（２）居住地域

問３：あなたがお住まいの地域をお答えください。

○居住地別の回答者割合をみると、水海道中学校区が 32.7%と最も高くなっている。

○本調査における各地域の回答者割合の比率は、おおむね各地域の人口比率（75 歳以上）と同様の比率となっている。



※常総市住民基本台帳より（平成 30 年 4 月 1 日）

(3) 健康状態

問4：あなたの健康状態をお答え下さい。

■健康状態は概ね良好。若干の地域差がみられる。

○全 体：「まあまあ良い」の割合が 59.5%で最も高く、次いで「良い」が 18.4%、「あまり良くない」が 17.0%となっている。

○男 女 別：大きな割合の差は見受けられない。

○年 齢 別：大きな割合の差は見受けられない。

○居住地別：「良い」及び「まあまあ良い」の割合の合計は、石下中学校区と石下西中学校区でそれぞれ 74.8%、68.2%とやや低い、他地区では概ね 80%前後となっている。

		良 い	ま あ ま あ 良 い	あ ま り 良 く な い	良 く な い	無 効	無 回 答
全体 (N=1074)		18.4	59.5	17.0	3.1	0.3	1.7
性 別	男性 (n=555)	19.3	58.7	17.3	2.0	0.4	2.3
	女性 (n=515)	17.7	60.4	16.7	4.1	0.2	1.0
年 齢 別	75歳～79歳 (n=449)	20.7	59.2	15.8	2.4	0.4	1.3
	80歳～84歳 (n=353)	18.7	58.9	17.3	3.1	0.0	2.0
	85歳～89歳 (n=192)	13.0	59.4	20.8	4.7	0.5	1.6
	90歳以上 (n=54)	14.8	63.0	16.7	3.7	0.0	1.9
居 住 地 区 別	水海道 (n=351)	20.8	59.3	18.5	1.1	0.0	0.3
	鬼怒 (n=109)	14.7	65.1	14.7	3.7	0.0	1.8
	水海道西（北） (n=182)	24.2	56.0	14.3	3.3	0.5	1.6
	水海道西（南） (n=109)	20.2	59.6	13.8	2.8	0.0	3.7
	石下 (n=234)	15.4	59.4	17.5	4.7	0.0	3.0
	石下西 (n=88)	8.0	60.2	22.7	5.7	2.3	1.1

(4) 介護認定区分

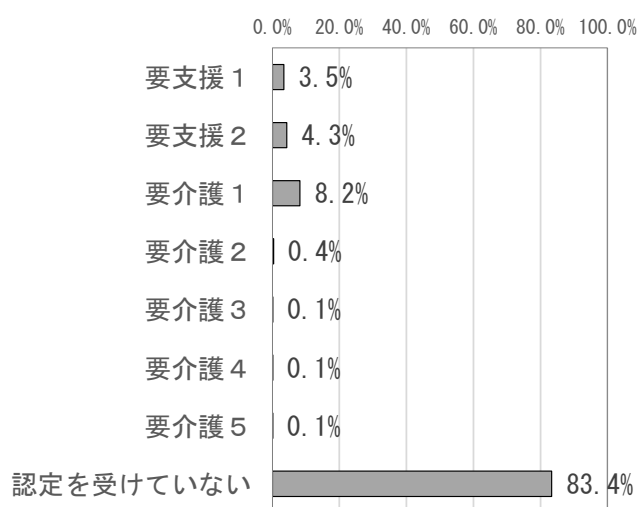
問5：あなたの介護認定区分をお答え下さい。

○回答者における介護認定割合は、「認定を受けていない」が72.3%と最も高くなっており、次いで、「要支援1」が5.6%、「要支援2」及び「要介護1」がそれぞれ4.2%となっている。

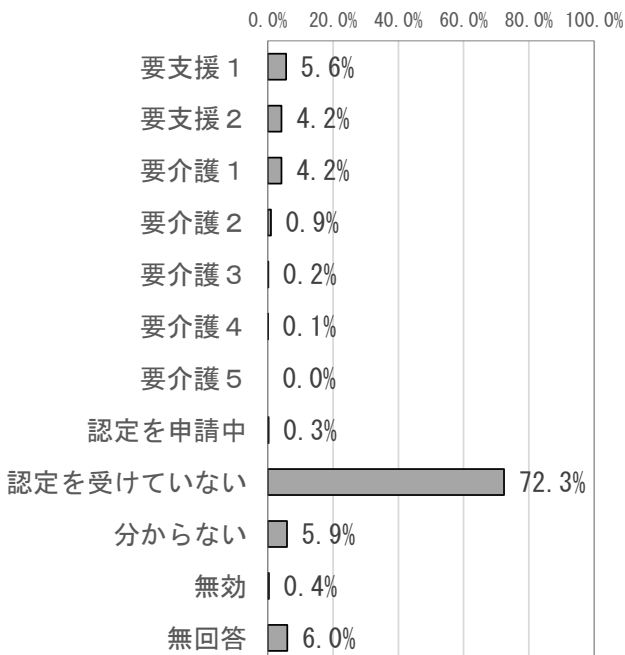
○これは、調査対象者における介護認定割合を概ね反映した結果となっている。

○なお、常総市における75歳以上の介護認定割合※は「介護認定を受けていない」が70.0%、「要介護2」が6.5%、「要介護1」が6.3%となっている。本調査では、「施設入所者を除く介護は受けていないが日常生活に不便を感じていると考えられる高齢者（＝要支援1～要介護1）」を主たる調査対象としたため、市全体の介護認定割合と調査結果における介護認定割合に差異が生じている。

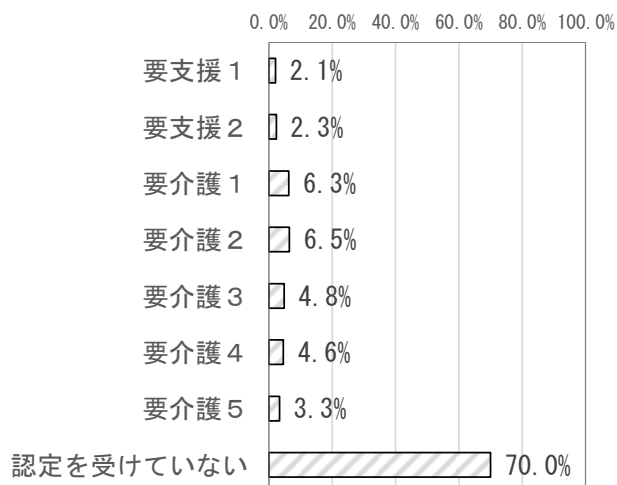
調査対象者における介護認定割合



介護認定別回答割合



参考：常総市の介護認定割合※(75歳以上)



※以下の式にて算出

$$\frac{\text{常総市における75歳以上介護認定者数}}{\text{常総市における75歳以上人口総数}} \times 100$$

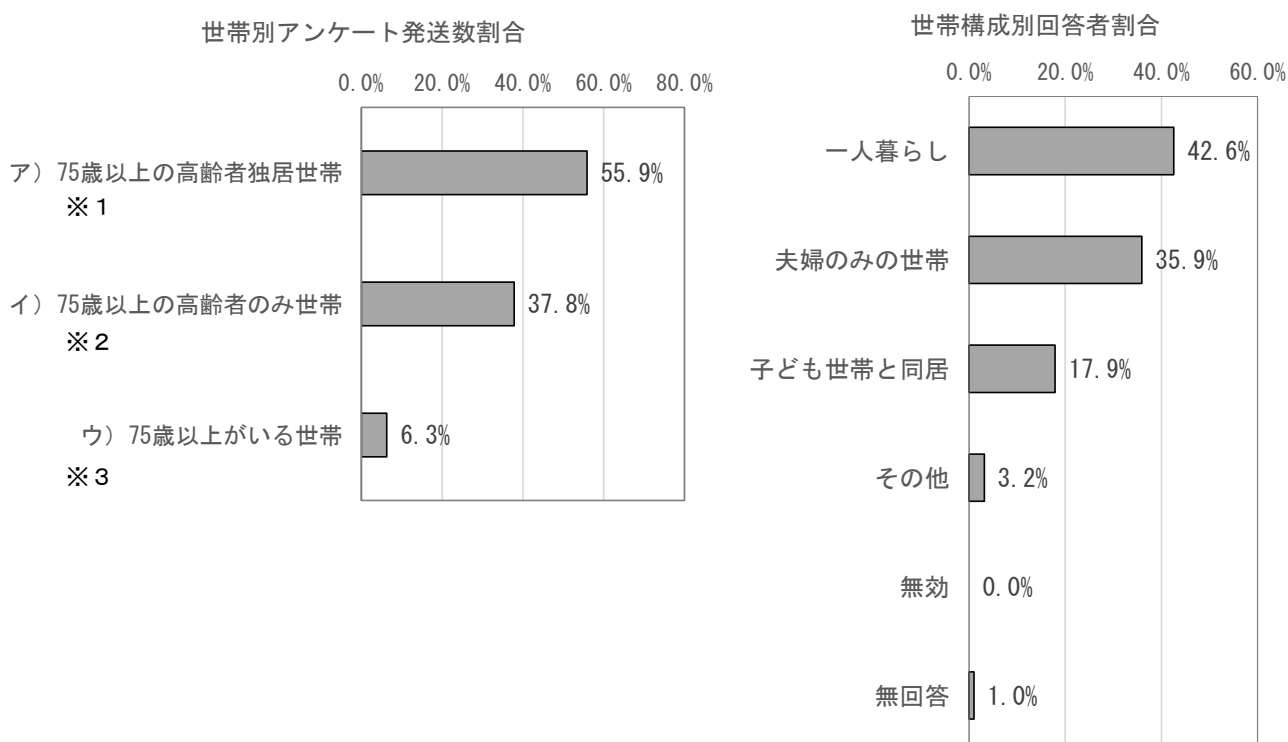
出典：常総市高齢福祉課

(5) 世帯構成

問6：現在の世帯構成をお答え下さい。

○世帯構成をみると、「一人暮らし」が42.6%と最も高く、次いで、「夫婦のみの世帯」が35.9%、「子ども世帯と同居」が17.9%となっている。

○これは、概ね世帯別のアンケート発送割合を反映した結果となっている。



※1：施設入所者を除く75歳以上の独居高齢者世帯（全ての世帯）

※2：施設入所者を除く75歳以上の高齢者のみ世帯（全ての世帯）

（「1人該当世帯」は世帯構成員のうち、どちらか一方が入所している世帯）

※3: 上記を除く75歳以上の高齢者がいる世帯から無作為抽出（調査対象世帯数からア）、イの世帯数を除いた世帯数）

(6) 同居者の介護認定区分、障がい者手帳の保有状況

問7：同居者の介護認定区分、障がい者手帳の保有状況をお答え下さい。

■同居者の過半数は要介護認定を受けていない。80歳代では要支援1から要介護3の割合がやや高い

○全体：調査対象者の同居者の介護認定区分等については、「認定を受けている同居者はいない」が56.2%と最も高く、次いで「障がい者手帳等を保有」が8.9%、「分からない」が6.4%となっている。

○年齢別：80歳～84歳及び85歳～89歳では「要支援1」から「要介護3」の認定割合がやや高い。

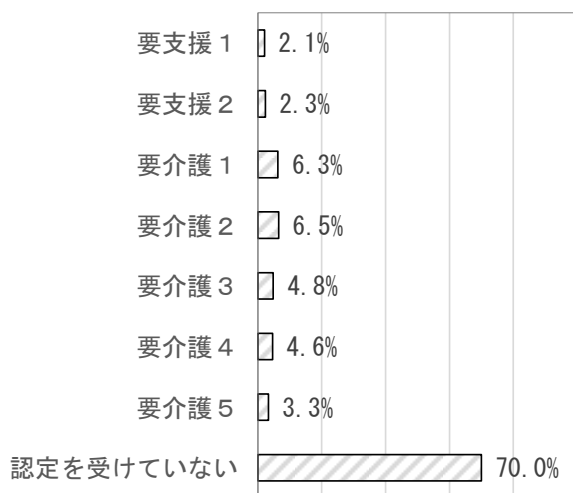
○居住地別：水海道西中学校北地区では「要支援1」が6.2%、水海道西中学校南地区では要介護2が5.6%、石下西中学校区では「要介護3」が6.5%とやや高い。

また、水海道西中学校南地区及び石下中学校区では「障がい者手帳等を保有」がそれぞれ11.3%、14.3%と他地区に比べて高い割合となっている。

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定を申請中	同居者を 認定を受けて いない	障がい者 手帳等を 保有	分からない	無効	無回答
全体 (N=610)		3.1	2.8	2.1	3.6	3.4	2.3	0.3	0.0	56.2	8.9	6.4	0.0	13.9
年齢別	75歳～79歳 (n=243)	2.1	1.6	1.2	3.7	1.2	2.5	0.0	0.0	61.7	7.8	5.8	0.0	13.6
	80歳～84歳 (n=225)	4.0	4.0	2.2	3.1	5.8	2.2	0.9	0.0	55.6	9.3	8.4	0.0	10.7
	85歳～89歳 (n=102)	3.9	3.9	4.9	4.9	3.9	2.9	0.0	0.0	48.0	11.8	2.0	0.0	15.7
	90歳以上 (n=26)	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	53.8	7.7	11.5	0.0	23.1
居住地別	水海道 (n=198)	3.0	5.1	1.5	3.5	3.0	3.0	0.0	0.0	59.6	8.1	4.5	0.0	11.6
	鬼怒 (n=63)	0.0	0.0	3.2	4.8	3.2	1.6	0.0	0.0	61.9	6.3	3.2	0.0	15.9
	水海道西 (北) (n=97)	6.2	3.1	3.1	2.1	3.1	2.1	1.0	0.0	53.6	4.1	7.2	0.0	16.5
	水海道西 (南) (n=71)	1.4	1.4	1.4	5.6	4.2	0.0	1.4	0.0	52.1	11.3	9.9	0.0	18.3
	石下 (n=133)	4.5	1.5	1.5	3.8	3.0	2.3	0.0	0.0	52.6	14.3	7.5	0.0	13.5
	石下西 (n=46)	0.0	2.2	4.3	2.2	6.5	4.3	0.0	0.0	54.3	6.5	8.7	0.0	10.9

参考：常総市の介護認定割合 (75歳以上)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



出典：常総市高齢福祉課

(7) 運転免許の保有状況

問8：平成30年9月1日現在の、運転免許の保有状況をお答え下さい。

■免許保有者が全体の約6割。各属性により保有状況に顕著な差がみられる。

- 全体：「免許を持っており、今のところ返納の予定はない」の割合が55.5%で最も高く、次いで「もともと免許を持っていない」が26.6%、「免許をすでに返納した」が12.6%となっている。
- 男女別：男性で「免許を持っており、今のところ返納の予定はない」の割合が76.8%、女性では「もともと免許を持っていない」が49.3%と、男女間で差がみられる。
- 年齢別：「免許を持っており、今のところ返納の予定はない」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向があり、「免許をすでに返納した」及び「もともと免許を持っていない」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がある。
- 居住地別：水海道中学校区で「免許を持っており、今のところ返納の予定はない」の割合は48.7%、鬼怒中学校区では同68.8%となっている等、免許保有状況に地域差が見られる。
- 世帯構成別：夫婦のみの世帯では「免許を持っており、今のところ返納の予定はない」の割合が75.4%と他の世帯構成に比べて高くなっている。その他の世帯構成では、「もともと免許を持っていない」が30%～40%前後となっており、夫婦のみの世帯との差がみられる。

		免許を持っており、今のところ返納の予定はない	免許を持っており、今のところ返納の予定はない	免許を持っており、今のところ返納の予定はない	免許を持っており、今のところ返納の予定はない	免許を持っており、今のところ返納の予定はない	免許を持っており、今のところ返納の予定はない
		55.5	4.0	12.6	26.6	0.1	1.2
性別	男性(n=555)	76.8	4.7	12.4	5.4	0.2	0.5
	女性(n=515)	32.6	3.3	12.8	49.3	0.0	1.9
年齢別	75歳～79歳(n=449)	70.2	1.6	7.3	20.0	0.0	0.9
	80歳～84歳(n=353)	53.5	4.5	12.7	28.3	0.0	0.8
	85歳～89歳(n=192)	34.4	8.9	19.3	34.4	0.5	2.6
	90歳以上(n=54)	13.0	3.7	33.3	48.1	0.0	1.9
居住地別	水海道(n=351)	48.7	4.6	15.7	29.3	0.0	1.7
	鬼怒(n=109)	68.8	3.7	11.9	15.6	0.0	0.0
	水海道西(北)(n=182)	57.7	3.3	10.4	27.5	0.0	1.1
	水海道西(南)(n=109)	61.5	5.5	9.2	22.9	0.9	0.0
	石下(n=234)	53.0	2.6	12.8	29.5	0.0	2.1
	石下西(n=88)	60.2	5.7	9.1	25.0	0.0	0.0
世帯構成別	一人暮らし(n=457)	42.7	3.5	14.4	37.2	0.0	2.2
	夫婦のみの世帯(n=386)	75.4	5.4	8.0	10.9	0.0	0.3
	子ども世帯と同居(n=192)	49.0	3.1	16.1	30.2	0.5	1.0
	その他(n=88)	32.4	2.9	20.6	44.1	0.0	0.0

3. 買い物に関する現状

(1) 買い物のための外出の頻度・買い物時の同行者・時間帯

問9：普段の「買い物のための外出」はどのくらいですか。

■買い物のための外出は週1～3回で全体の6割程度。加齢とともに頻度は低下、若干の地域差も。

○全体：「週2～3回」の割合が41.9%で最も高く、次いで「週1回程度」が22.7%、「ほぼ毎日」が15.0%となっている。

○年齢別：「ほぼ毎日」と「週2～3回」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあるが「買い物のための外出はしていない」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなる。

○居住地別：水海道中学校区で「ほぼ毎日」の割合が20%を越えており、他地区よりもやや高い。

○世帯構成別：概ね「週2～3回」が40%前後となっている。

		ほぼ毎日	週2～3回	週1回程度	月1～2回程度	その他	買い物のための外出はしていない	無効	無回答
全体 (N=1074)		15.0	41.9	22.7	9.7	1.0	6.1	0.9	2.7
年齢別	75歳～79歳 (n=449)	19.8	47.0	19.8	7.6	1.1	3.1	0.9	0.7
	80歳～84歳 (n=353)	13.9	42.2	24.4	11.3	0.8	3.7	0.8	2.8
	85歳～89歳 (n=192)	7.3	38.0	22.9	13.0	1.6	12.0	1.0	4.2
	90歳以上 (n=54)	7.4	11.1	35.2	9.3	0.0	25.9	0.0	11.1
居住地別	水海道 (n=351)	20.2	44.2	19.4	7.1	1.4	4.0	1.1	2.6
	鬼怒 (n=109)	12.8	35.8	25.7	12.8	0.0	9.2	0.9	2.8
	水海道西（北） (n=182)	9.9	38.5	28.6	13.2	0.0	7.1	0.5	2.2
	水海道西（南） (n=109)	13.8	42.2	18.3	11.9	2.8	8.3	0.0	2.8
	石下 (n=234)	12.8	43.6	24.8	9.4	0.4	6.0	0.4	2.6
	石下西 (n=88)	14.8	40.9	20.5	8.0	2.3	5.7	3.4	4.5
世帯構成別	一人暮らし (n=457)	13.6	39.6	27.1	10.3	1.5	4.4	0.9	2.6
	夫婦のみの世帯 (n=386)	16.6	47.9	20.2	8.0	0.3	3.9	0.8	2.3
	子ども世帯と同居 (n=192)	15.6	37.0	17.7	11.5	0.5	13.5	1.6	2.6

問 10：買い物をする際の同行者はどなたですか。

■一人で買い物が約半数(一人暮らし世帯では7割超)、次いで配偶者や子ども等の親族の同行が多い。

○全 体：「同行者はいない」の割合が 51.6%で最も高く、次いで「配偶者」が 28.7%、「子ども」が 18.2%となっている。

○年 齢 別：「子ども」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にある。その他、各年齢層で「同行者はいない」が 50%～60%程度となっており、年齢層による差はあまり見られない。

○居住地別：どの地区も「同行者はいない」が 50%前後となっており、地域差はあまり見られない。

○世帯構成別：一人暮らし世帯では「同行者はいない」、夫婦のみ世帯では「配偶者」、子ども世帯と同居世帯では「子ども」の割合が高く、世帯構成に応じた結果となっている。

なお、一人暮らし世帯では「同行者はいない」が 71.0%であり、他の属性と比較しても特に高い割合となっている。

		配 偶 者	子 ど も	兄 弟 姉 妹 含 む (義 理 の 兄 弟 姉 妹)	そ の 他 の 親 戚	友 人 ・ 知 人	ヘル パー (訪 問 介 護)	そ の 他	同 行 者 は い な い
全体 (N=970)		28.7	18.2	3.0	2.1	3.5	0.3	0.9	51.6
年 齢 別	75歳～79歳 (n=428)	27.3	12.6	3.7	1.2	4.2	0.2	1.2	57.7
	80歳～84歳 (n=327)	32.7	18.0	2.4	2.4	2.8	0.3	0.6	47.7
	85歳～89歳 (n=159)	27.7	27.7	1.3	3.1	2.5	0.6	1.3	47.8
	90歳以上 (n=25)	16.0	60.0	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0	52.0
居 住 地 区 別	水海道 (n=324)	29.3	15.1	2.2	2.2	3.1	0.3	1.5	54.6
	鬼怒 (n=95)	28.4	18.9	0.0	0.0	4.2	0.0	1.1	49.5
	水海道西 (北) (n=164)	25.0	20.1	5.5	2.4	4.3	0.6	0.6	50.6
	水海道西 (南) (n=97)	30.9	21.6	2.1	2.1	5.2	0.0	2.1	49.5
	石下 (n=213)	31.0	21.6	3.8	0.9	3.3	0.5	0.0	49.8
	石下西 (n=76)	23.7	11.8	3.9	6.6	1.3	0.0	0.0	53.9
世 帯 構 成 別	一人暮らし (n=421)	0.0	20.9	4.3	4.0	4.3	0.5	0.2	71.0
	夫婦のみの世帯 (n=359)	64.6	8.6	0.6	0.3	1.4	0.3	0.3	34.5
	子ども世帯と同居 (n=158)	25.3	32.3	4.4	0.6	7.0	0.0	1.9	39.9

問 11：あなたが最もよく買い物に出かける時間は何時ごろですか。

■午前中では主に 10 時-11 時台、午後では主に 14 時-15 時台に買い物に出かける傾向。

○全 体：「10 時」の割合が 29.0%で最も高く、次いで「11 時」が 16.3%、「14 時」が 12.8%、「15 時」が 12.4%となっている。

○年 齢 別：90 歳以上で「9 時」が 12.0%、「15 時」が 24.0%と他の年齢層に比べてやや高い。

○居住地別：鬼怒中学校区で「11 時」が 23.2%、水海道西中学校北地区及び水海道西中学校南地区で「14 時」がそれぞれ 18.9%、17.5%と他地区よりやや高い。

○世帯構成別：一人暮らし世帯で「10 時」の割合が 23.5%と、他の世帯構成と比べて低くなっている。

		7 時	8 時	9 時	10 時	11 時	12 時	13 時	14 時	15 時	16 時	17 時	18 時	19 時	20 時
全体 (N=970)		0.3	0.0	3.5	29.0	16.3	1.0	6.1	12.8	12.4	7.2	3.3	0.9	0.3	0.2
年 齢 別	75歳～79歳 (n=428)	0.7	0.0	2.8	26.9	17.5	0.5	5.1	12.4	15.0	7.0	4.0	1.2	0.7	0.2
	80歳～84歳 (n=327)	0.0	0.0	3.7	30.0	14.4	1.8	6.4	13.1	9.5	7.6	4.3	0.6	0.0	0.0
	85歳～89歳 (n=159)	0.0	0.0	4.4	34.0	17.0	0.6	6.9	12.6	9.4	8.2	0.6	1.3	0.0	0.0
	90歳以上 (n=25)	0.0	0.0	12.0	48.0	24.0	0.0	8.0	12.0	24.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地別	水海道 (n=324)	0.3	0.0	3.7	29.9	15.1	1.2	5.6	10.2	11.4	10.5	4.0	0.9	0.3	0.0
	鬼怒 (n=95)	1.1	0.0	3.2	36.8	23.2	0.0	4.2	8.4	10.5	3.2	1.1	0.0	1.1	0.0
	水海道西（北） (n=164)	0.0	0.0	2.4	26.8	15.9	1.2	9.8	18.9	12.8	3.7	1.8	0.6	0.0	0.0
	水海道西（南） (n=97)	0.0	0.0	4.1	26.8	11.3	2.1	8.2	17.5	14.4	5.2	2.1	0.0	0.0	1.0
	石下 (n=213)	0.5	0.0	2.3	28.2	18.8	0.9	5.6	11.3	12.2	7.0	3.8	1.9	0.0	0.5
	石下西 (n=76)	0.0	0.0	7.9	23.7	13.2	0.0	1.3	14.5	15.8	9.2	6.6	1.3	1.3	0.0
世帯構成別	一人暮らし (n=421)	0.5	0.0	4.3	23.5	17.8	1.0	7.8	13.5	10.9	7.4	4.3	0.7	0.2	0.2
	夫婦のみの世帯 (n=359)	0.5	0.0	3.6	33.1	13.6	1.4	5.3	12.5	12.3	6.1	3.3	1.7	0.0	0.3
	子ども世帯と同居 (n=158)	0.5	0.0	1.3	33.5	19.0	0.6	3.8	10.8	13.3	10.1	1.3	0.0	0.6	0.0

(2) 買い物でよく買う品目

問 12：普段の買い物でよく買う品目はどれですか。

■よく買う品目は生鮮品（8割程度）。年齢と世帯構成により若干の差がみられる。

○全 体：「生鮮食品（肉・魚・野菜）」の割合が 78.8%で最も高く、次いで「日用品・雑貨」が 50.7%、他の食料品が 45.1%となっている。

○年 齢 別：「生鮮食品（肉・魚・野菜）」、「日用品・雑貨」、「衣類」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

○居住地別：石下中学校区、石下西中学校区で「衣類」の割合が 25%を超えやや高くなっているが、その他の項目については概ね同様の傾向となっている。

○世帯構成別：子ども世帯と同居で「生鮮食品（肉・魚・野菜）」が 65.1%と、他の世帯構成に比べて低くなっている。

		生 鮮 食 品 （ 肉 ・ 魚 ・ 野 菜 ）	他 の 食 料 品	日 用 品 ・ 雑 貨	衣 類	そ の 他
全体 (N=1074)		78.8	45.1	50.7	20.5	4.6
年 齢 別	75歳～79歳 (n=449)	84.0	46.8	53.0	25.8	4.0
	80歳～84歳 (n=353)	77.9	44.2	51.6	19.3	4.2
	85歳～89歳 (n=192)	75.0	47.9	50.5	14.1	6.8
	90歳以上 (n=54)	53.7	37.0	29.6	11.1	3.7
居 住 地 区 別	水海道 (n=351)	81.2	47.9	46.2	17.1	5.1
	鬼怒 (n=109)	76.1	43.1	56.0	20.2	3.7
	水海道西（北） (n=182)	79.7	42.9	51.6	17.6	2.7
	水海道西（南） (n=109)	76.1	41.3	51.4	20.2	8.3
	石下 (n=234)	76.9	44.0	51.7	26.5	3.4
	石下西 (n=88)	78.4	48.9	54.5	25.0	5.7
世 帯 構 成 別	一人暮らし (n=457)	83.8	47.3	52.1	19.3	4.8
	夫婦のみの世帯 (n=386)	81.6	44.8	52.3	19.7	4.9
	子ども世帯と同居 (n=192)	65.1	42.2	42.7	25.0	3.1

(3) 最寄りの生鮮食品販売店に関する実態（店舗形態・自宅からの距離・利用状況等）

問 13：自宅から一番近くにある生鮮食品を売っているお店をお答え下さい。

■最寄りの生鮮食品販売店はスーパーマーケットが約6割～7割。鬼怒中学校区では異なる傾向。

○全体：「スーパーマーケット」の割合が62.8%で最も高く、次いで「大型ショッピングセンター」が8.3%、「コンビニエンスストア」が5.4%となっている。

○居住地別：鬼怒中学校区では「スーパーマーケット」の割合が45.0%と他地区に比べて低い一方で、「大型ショッピングセンター」の割合が15.6%と他地区に比べて高くなっており、他地区と異なる傾向がみられる。

○世帯構成別：全ての世帯構成で「スーパーマーケット」の割合が60%～65%程度となっており、世帯構成による差はみられない。

		地元の商店街の個人商店	商店街以外の個人商店	スーパーマーケット	大型ショッピングセンター	ホームセンター	ドラッグストア（薬局）	コンビニエンスストア	その他	無効	無回答
全体（N=1074）		3.9	2.0	62.8	8.3	0.7	2.4	5.4	0.4	8.7	5.4
居住地区別	水海道（n=351）	2.8	1.4	70.1	5.7	0.3	1.7	4.3	0.0	8.8	4.8
	鬼怒（n=109）	8.3	5.5	45.0	15.6	0.9	0.0	8.3	0.9	10.1	5.5
	水海道西（北）（n=182）	4.9	2.7	64.8	6.6	1.1	0.5	8.2	0.0	4.9	6.0
	水海道西（南）（n=109）	4.6	2.8	61.5	8.3	0.0	0.0	6.4	1.8	8.3	6.4
	石下（n=234）	2.1	1.3	59.4	10.7	1.3	6.8	4.3	0.4	8.5	5.1
	石下西（n=88）	3.4	0.0	62.5	6.8	1.1	3.4	2.3	0.0	14.8	5.7
世帯構成別	一人暮らし（n=457）	4.4	2.6	63.9	6.8	0.2	2.8	6.3	0.4	8.1	4.4
	夫婦のみの世帯（n=386）	3.4	1.6	66.1	10.1	1.0	2.3	4.9	0.5	7.0	3.1
	子ども世帯と同居（n=192）	3.1	1.6	58.3	8.3	1.0	1.6	4.7	0.0	10.4	10.9

問 14：問 13 で答えたお店までは、自宅から徒歩で行くとすれば何分くらいですか。

■最寄りの生鮮食品販売店までは徒歩 20 分以上が 4 割。地区ごとにその立地状況に差がみられる。

○全 体：「20 分以上」の割合が 40.0%で最も高く、次いで「～10 分くらい」が 19.0%、「～15 分くらい」が 15.7%となっている。

○居住地別：水海道中学校区では「20 分以上」の割合が 21.1%と他地区に比べて低くなっているが、鬼怒中学校区では 60.9%と特に高くなっている。

概ね水海道中学校区では「～5 分くらい」から「～20 分くらい」の割合が高くなっていることから、比較的住居の近くに生鮮食品を販売する店舗が立地していると言える。

○世帯構成別：全ての世帯構成で「20 分以上」が 40%前後となっており、世帯構成による差はみられない。

		5 分 く ら い	1 0 分 く ら い	1 5 分 く ら い	2 0 分 く ら い	2 0 分 以 上	無 効	無 回 答
全 体 (N=923)		11.6	19.0	15.7	10.2	40.0	0.3	3.3
居 住 地 区 別	水海道 (n=303)	16.5	26.1	21.5	13.9	21.1	0.3	0.7
	鬼怒 (n=92)	8.7	12.0	3.3	5.4	60.9	1.1	8.7
	水海道西（北）(n=162)	9.3	16.0	11.7	8.0	50.6	0.0	4.3
	水海道西（南）(n=93)	17.2	14.0	12.9	6.5	47.3	0.0	2.2
	石下 (n=202)	6.9	18.8	16.8	8.4	44.6	0.5	4.0
	石下西 (n=70)	5.7	11.4	15.7	15.7	47.1	0.0	4.3
世 帯 構 成 別	一人暮らし (n=457)	10.0	19.3	14.3	8.8	43.0	0.3	4.5
	夫婦のみの世帯 (n=386)	14.1	18.7	16.7	12.7	36.9	0.0	0.9
	子ども世帯と同居 (n=192)	9.3	19.2	17.9	8.6	38.4	0.7	6.0

問 15：問 13 で答えたお店はよく利用していますか。

■最寄りの生鮮食品販売店は概ね利用されているが、地区ごとに若干の差がみられる。

○全 体：「利用している」の割合が 85.9%で最も高く、次いで「利用していない」が 10.5%となっている。

○年 齢 別：90 歳以上では「利用していない」の割合が 30.8%と、他の年齢層に比べて高い。

○居住地別：鬼怒中学校区、水海道西中学校北地区、水海道西中学校南地区の各地区では「利用していない」の割合が 15%前後となっており、他地区と比べてやや高い。

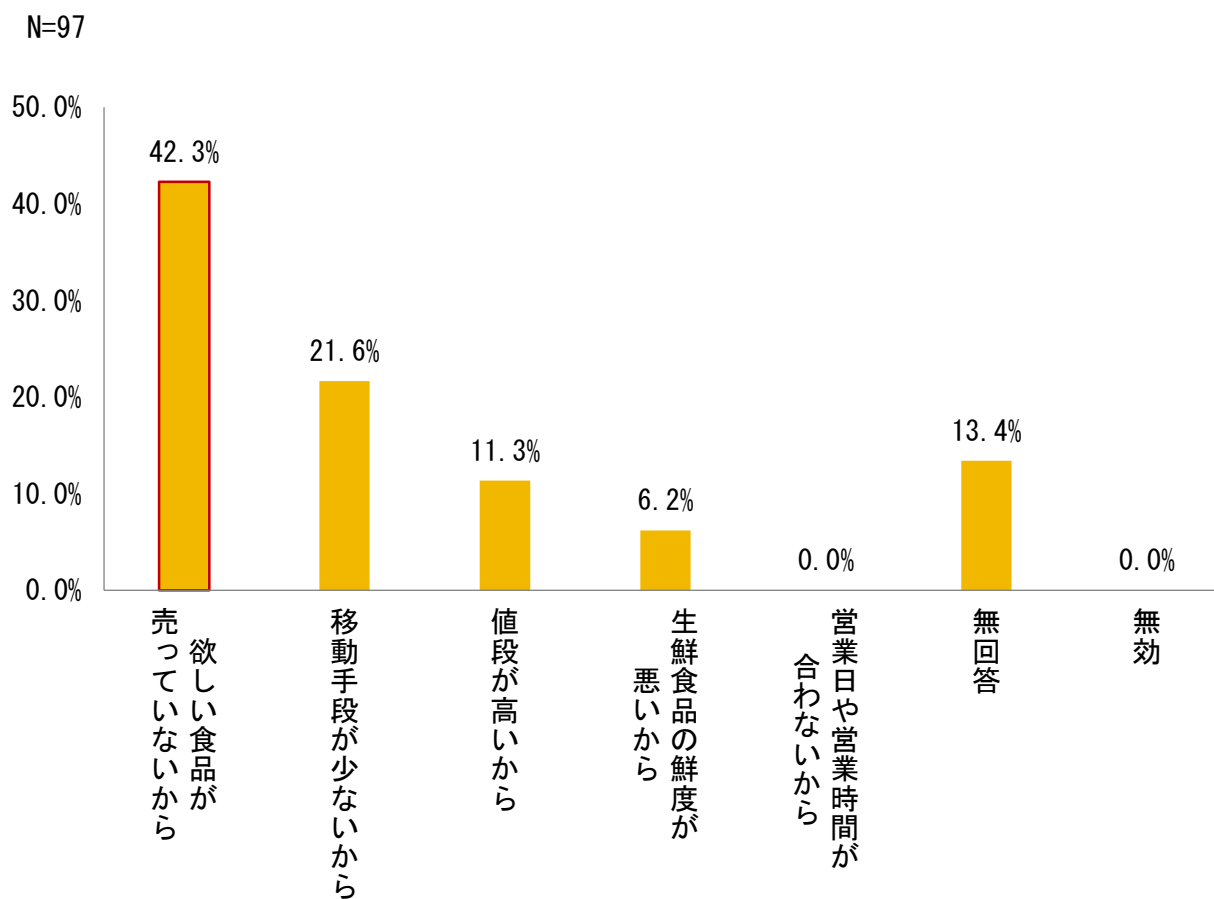
○世帯構成別：全ての世帯構成で「利用している」が 85%以上となっている。

		利用 している	利用 していない	無 効	無 回 答
全体 (N=923)		85.9	10.5	0.0	3.6
年 齢 別	75歳～79歳 (n=389)	90.5	7.5	0.0	2.1
	80歳～84歳 (n=319)	83.1	11.3	0.0	5.6
	85歳～89歳 (n=154)	85.1	13.0	0.0	1.9
	90歳以上 (n=39)	64.1	30.8	0.0	5.1
居 住 地 区 別	水海道 (n=303)	88.8	7.9	0.0	3.3
	鬼怒 (n=92)	81.5	14.1	0.0	4.3
	水海道西（北） (n=162)	79.6	15.4	0.0	4.9
	水海道西（南） (n=93)	82.8	15.1	0.0	2.2
	石下 (n=202)	89.1	7.9	0.0	3.0
	石下西 (n=70)	90.0	5.7	0.0	4.3
世 帯 構 成 別	一人暮らし (n=400)	85.0	11.0	0.0	4.0
	夫婦のみの世帯 (n=347)	87.9	9.8	0.0	2.3
	子ども世帯と同居 (n=151)	86.1	9.3	0.0	4.6

問 16：問 15 で「利用していない」と答えた方にお尋ねします。その理由をお答えください。

■最寄りの生鮮食品販売店を利用しない主な理由は「欲しい食品が売っていないから」。

○全体：「欲しい食品が売っていないから」の割合が 42.3%で最も高く、次いで「移動手段が少ないから」が 21.6%、「値段が高いから」が 11.3%となっている。



問 17：生鮮食品の買い物で、一番よく利用するお店はどこですか。

■最も良く利用する生鮮食品販売店は「スーパーマーケット」。年齢、地域により若干の差がみられる。

○全 体：「スーパーマーケット」の割合は 69.1%で最も高く、次いで「大型ショッピングセンター」が 12.6%、「地元の商店街の個人商店」が 2.7%となっている。

○年 齢 別：「スーパーマーケット」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にある。

○居住地別：鬼怒中学校区、石下中学校区で「大型ショッピングセンター」が 16%を越えている。一方、石下西中学校区は同 6.8%となっており、隣接する石下中学校区と差が見受けられる。

○世帯構成別：各世帯構成とも「スーパーマーケット」が 70%前後となっており、大きな差はみられない。

		地元の商店街の個人商店	商店街以外の個人商店	スーパーマーケット	大型ショッピングセンター	ホームセンター	ドラッグストア（薬局）	コンビニエンスストア	その他	無効	無回答
全体（N=1074）		2.7	0.8	69.1	12.6	0.6	1.1	1.6	1.8	3.7	6.1
年齢別	75歳～79歳（n=449）	2.2	0.2	75.7	12.2	0.2	0.4	1.1	0.7	3.6	3.6
	80歳～84歳（n=353）	2.8	1.4	72.0	12.7	0.6	1.1	1.1	1.4	3.4	3.4
	85歳～89歳（n=192）	2.6	1.6	56.3	14.6	1.0	2.6	2.1	3.6	5.2	10.4
	90歳以上（n=54）	3.7	0.0	48.1	9.3	0.0	0.0	5.6	5.6	1.9	25.9
居住地区別	水海道（n=351）	2.0	0.9	75.2	10.8	0.0	0.9	1.4	1.1	2.6	5.1
	鬼怒（n=109）	4.6	0.0	60.6	16.5	0.0	0.9	1.8	2.8	3.7	9.2
	水海道西（北）（n=182）	3.8	1.1	68.1	11.5	2.2	0.0	3.3	2.2	1.6	6.0
	水海道西（南）（n=109）	1.8	0.9	70.6	11.9	0.0	0.0	0.9	4.6	4.6	4.6
	石下（n=234）	2.6	1.3	62.4	16.7	0.9	2.6	1.3	1.3	5.1	6.0
	石下西（n=88）	2.3	0.0	72.7	6.8	0.0	2.3	0.0	0.0	8.0	8.0
世帯構成別	一人暮らし（n=457）	3.5	0.9	68.7	12.5	0.7	1.8	1.3	2.6	4.2	3.9
	夫婦のみの世帯（n=386）	1.6	0.5	73.8	13.2	0.5	1.0	1.0	0.5	2.3	5.4
	子ども世帯と同居（n=192）	3.1	0.5	65.1	11.5	0.5	0.0	3.1	1.6	3.6	10.9

問 18：問 17 で答えたお店までは、自宅から徒歩で行くとすれば何分くらいですか。

■利用する生鮮食品販売店までは「徒歩 20 分以上」が約半数。店舗の立地状況に応じた地域差もみられる。

○全 体：「20 分以上」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「～10 分くらい」が 13.6%、「～15 分くらい」が 12.9%となっている。

○年 齢 別：各年齢層とも「20 分以上」の割合が 45%～50%前後と最も高くなっている。

○居住地別：水海道中学校区では「20 分以上」の割合が 25.0%と他地区に比べて低くなっている一方で、鬼怒中学校区では同 71.6%と特に高い割合となっている。

水海道中学校区では他地区と比べて住居から近い店舗で買い物をしている一方、鬼怒中学校区では特に住居から離れた店舗で買い物をしている傾向にあると言える。

これは、問 13 でみた自宅の最寄りの店舗の立地状況を反映した地域差となっている。

○世帯構成別：全ての世帯構成で「20 分以上」が 40%を超えているが、世帯構成による差はみられない。

		5 分 く ら い	1 0 分 く ら い	1 5 分 く ら い	2 0 分 く ら い	2 0 分 以 上	無 効	無 回 答
全体 (N=969)		7.7	13.6	12.9	9.4	45.7	0.1	10.5
年 齢 別	75歳～79歳 (n=417)	8.9	11.0	13.7	12.0	44.8	0.2	9.4
	80歳～84歳 (n=329)	7.9	13.4	14.0	8.5	45.0	0.0	11.2
	85歳～89歳 (n=162)	5.6	19.1	10.5	6.2	47.5	0.0	11.1
	90歳以上 (n=39)	0.0	17.9	10.3	5.1	53.8	0.0	12.8
居 住 地 区 別	水海道 (n=324)	12.3	21.0	19.4	13.0	25.0	0.0	9.3
	鬼怒 (n=95)	5.3	4.2	0.0	5.3	71.6	1.1	12.6
	水海道西（北） (n=168)	3.6	9.5	7.7	4.2	60.7	0.0	14.3
	水海道西（南） (n=99)	10.1	7.1	11.1	5.1	52.5	0.0	14.1
	石下 (n=208)	6.7	13.9	12.5	9.6	48.1	0.0	9.1
	石下西 (n=74)	0.0	10.8	16.2	16.2	52.7	0.0	4.1
世 帯 構 成 別	一人暮らし (n=420)	5.7	14.8	9.5	9.5	48.8	0.0	11.7
	夫婦のみの世帯 (n=386)	9.0	12.6	16.3	11.5	42.7	0.0	7.9
	子ども世帯と同居 (n=164)	8.5	14.0	15.2	6.7	42.7	0.0	12.8

(4) 買い物時の移動手段

問 19：あなたが普段買い物をする際の移動手段は何ですか。

■ 買い物時の移動手段は「自動車(自分で運転)」が約半数。年齢・居住地・世帯構成により異なる傾向。

○全体：「自動車(自分で運転)」の割合が 48.0%で最も高く、次いで「自転車」が 20.1%、「徒歩」が 17.3%、「自動車(家族の運転)」が 16.4%となっている。

○年齢別：「自動車(自分で運転)」の割合は年齢が上がるにつれて低くなり、「自動車(家族の運転)」の割合は年齢が上がるにつれて高くなる傾向にある。

○居住地別：水海道中学校区では「徒歩」の割合が 29.3%、「自転車」が 29.0%と他地区に比べて高くなっている一方、鬼怒中学校区、水海道西中学校南地区、石下西中学校区では「自動車(自分で運転)」の割合が 50%を超えるなど、地域による差がみられる。

○世帯構成別：一人暮らし世帯では「徒歩」と「自転車」がそれぞれ 20.4%、23.0%、夫婦のみ世帯では「自動車(自分で運転)」が 63.8%、子ども世帯と同居では「自動車(家族の運転)」が 24.1%となっており、世帯構成に応じた差がみられる。

		徒歩	自転車	バイク	鉄道	自動車 (自分で運転)	自動車 (家族の運転)	自動車 (家族以外の方の運転)	福祉 タクシー	デマ ンド タクシ	民間 タクシ	路線 バス	他市 の ユニ テイ バス	その他
全体 (N=970)		17.3	20.1	2.0	0.7	48.0	16.4	4.8	2.4	0.6	3.0	0.5	0.1	0.5
年齢別	75歳～79歳 (n=428)	15.4	20.1	2.3	0.2	56.5	12.6	4.7	1.9	0.2	2.3	0.5	0.0	0.2
	80歳～84歳 (n=327)	18.3	22.3	2.1	1.2	45.9	15.6	4.0	2.4	0.9	2.8	0.0	0.3	0.3
	85歳～89歳 (n=159)	22.0	18.2	1.3	1.3	35.8	23.9	5.7	3.8	1.3	4.4	1.9	0.0	1.9
	90歳以上 (n=25)	20.0	20.0	0.0	0.0	24.0	52.0	8.0	4.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0
居住地別	水海道 (n=324)	29.3	29.0	1.2	0.6	39.5	13.0	2.8	0.9	0.3	3.1	0.0	0.0	0.3
	鬼怒 (n=95)	2.1	7.4	4.2	2.1	60.0	17.9	2.1	5.3	1.1	2.1	0.0	0.0	0.0
	水海道西(北) (n=164)	14.0	11.0	3.7	0.0	49.4	20.1	7.9	4.9	0.6	3.7	0.6	0.0	0.6
	水海道西(南) (n=97)	16.5	14.4	1.0	0.0	54.6	16.5	6.2	1.0	0.0	2.1	2.1	1.0	2.1
	石下 (n=213)	10.8	23.0	0.9	0.9	47.9	17.8	5.6	2.3	0.9	3.8	0.9	0.0	0.5
	石下西 (n=76)	11.8	17.1	2.6	1.3	57.9	15.8	6.6	1.3	1.3	2.6	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	一人暮らし (n=457)	20.4	23.0	1.9	0.5	38.5	15.7	8.3	4.0	1.2	4.0	0.7	0.0	1.0
	夫婦のみの世帯 (n=386)	15.0	17.8	1.4	0.8	63.8	13.6	1.4	0.6	0.0	1.4	0.6	0.3	0.3
	子ども世帯と同居 (n=192)	14.6	16.5	3.8	0.6	41.1	24.1	3.8	1.9	0.6	2.5	0.0	0.0	0.0

(5) 買い物時の困りごと、改善点等

問 20：あなたが普段の買い物で困っていること、または不便だと感じることは何ですか。

■買い物時の主な困りごとは「買いたい品物を売っているお店が近くにないこと」。特に立地環境に関する項目では地域差が、家族等の支援及び困りごとの有無に関する項目では運転免許の保有状況による差が顕著。

○全 体：「買いたい品物を売っている店が近くにないこと」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」が 29.1%、「家族等に協力がないと、行きたい時に買い物ができないこと」が 16.6%、「バスや鉄道等の公共交通機関が利用しにくいこと」が 16.3%となっている。

○年 齢 別：「買いたい品物を売っている店が近くにないこと」と「バスや鉄道等の公共交通機関が利用しにくいこと」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなるが 90 歳以上になると低くなっている。一方で「家族等に協力がないと、行きたい時に買い物ができないこと」の割合は 90 歳以上が 29.6%と最も高くなっている。これらのことから、90 歳以上では家族等の支援の必要性や既に支援を受けている高齢者の割合も高くなっていると推測される。

○居住地別：「買いたい品物を売っている店が近くにないこと」の割合は、鬼怒中学校区で 51.4%、石下西中学校区で 28.4%となっており、顕著な地域差がみられる。

また、水海道西中学校北地区、水海道西中学校南地区、石下西中学校区では「バスや鉄道等の公共交通機関が利用しにくい」の割合が 20%を越えており、他地区に比べてやや高い。

○世 帯 構 成 別：一人暮らし世帯と夫婦のみの世帯では「買いたい品物を売っている店が近くにないこと」が 40%程度となっている一方で、子ども世帯と同居世帯では 29.7%となっており、世帯構成による差がみられる。また、子ども世帯と同居では「家族等の協力がないと、行きたい時に買い物ができないこと」の割合が 22.4%と最も高い。問 10 でみたように買い物時の同行者についても「子ども」の割合が高かったことから、既に関買い物時には子どもに何らかの支援を受けているため、本項目に対する割合が高くなっていると推測される。

○免許保有状況別：運転免許非保有者では、「家族等の協力がないと、行きたい時に買い物ができない」の割合が 30%～40%程度となっている。一方で、運転免許保有者のうち、免許返納の予定がない対象者では「特に困っていることはない」が 40.9%となっており、運転免許の保有状況による顕著な差がみられる。

		店 買 い た い 品 物 を 売 っ て い る	関 が 利 用 し に く い こ と	バス や 鉄 道 等 の 公 共 交 通 機 関	バス や 鉄 道 等 の 公 共 交 通 機 関 の 利 用 料 金 が 高 い こ と	重 い 物 が 持 て な い た め 一 度 に 少 量 し か 購 入 で き な い こ と	バス 等 の 乗 降 が 体 力 的 に き つ い （ き つ く な る ） こ と	家 族 等 に 協 力 が な い と、 行 き た い 時 に 買 い 物 が で き な い こ と	買 い 物 を 手 伝 っ て く れ る 家 族 ・ 知 人 ・ ボ ラ ン テ イ ア 等 が い な い こ と	民 間 タ ク シ ー の 利 用 料 金 が 高 い こ と	埋 ま っ て い て 利 用 し た い と き に 利 用 で き な い こ と	デ マ ン ド タ ク シ ー の 予 約 が き に 利 用 で き な い こ と	デ マ ン ド タ ク シ ー で 行 き た い と ころ ま で 行 け な い こ と	デ マ ン ド タ ク シ ー を 予 約 す る と きの 手 続 き が 煩 わ し く 感 じ る こ と	デ マ ン ド タ ク シ ー の 予 約 が う ま く で き な い こ と	耳 が 遠 い た め、 デ マ ン ド タ ク シ ー の 予 約 が う ま く で き な い こ と	差 ・ 傾 斜 が あ り、 危 な い こ と	道 路 や お 店 に 行 く 階 段 や 段	街 灯 が 少 な く、 夜 間 の 買 い 物 が 危 な い こ と	買 い 物 先 ま で の 道 や 買 い 物 先 に、 ベン チ や 休 憩 所 等 の 休 め る と ころ が 少 な い こ と	そ 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い
全体 (N=1074)		37.5	16.3	4.5	14.7	4.6	16.6	6.4	9.1	4.3	4.0	4.7	2.5	5.4	7.2	7.8	3.2	29.1				
年 齢 別	75歳～79歳 (n=449)	36.1	16.0	4.7	12.9	3.1	12.0	4.5	8.0	3.6	3.1	2.9	1.8	4.7	8.2	7.1	2.9	37.2				
	80歳～84歳 (n=353)	37.1	13.9	4.0	14.2	4.8	17.3	6.8	9.6	4.8	4.8	5.9	1.7	4.8	5.4	7.4	4.2	25.8				
	85歳～89歳 (n=192)	43.8	22.4	4.7	19.3	6.3	22.9	10.4	12.5	5.7	4.7	6.8	5.2	6.3	8.3	8.9	3.1	17.7				
	90歳以上 (n=54)	27.8	9.3	3.7	16.7	7.4	29.6	7.4	3.7	0.0	1.9	3.7	5.6	11.1	7.4	9.3	0.0	20.4				
居 住 地 区 別	水海道 (n=351)	32.8	10.5	5.7	19.1	4.8	16.0	6.6	8.8	4.8	5.7	5.1	1.4	6.6	8.5	8.0	3.4	30.2				
	鬼怒 (n=109)	51.4	17.4	5.5	11.9	6.4	17.4	7.3	11.9	3.7	4.6	3.7	4.6	3.7	4.6	7.3	3.7	21.1				
	水海道西（北） (n=182)	45.1	21.4	2.2	11.0	5.5	15.9	6.0	7.7	4.9	4.4	5.5	2.2	4.4	7.7	8.2	2.2	24.7				
	水海道西（南） (n=109)	38.5	20.2	2.8	11.0	4.6	20.2	6.4	15.6	3.7	3.7	6.4	4.6	6.4	3.7	6.4	2.8	32.1				
	石下 (n=234)	35.0	15.4	4.3	14.1	3.4	17.9	6.0	6.0	3.0	1.7	4.3	3.0	5.1	5.6	8.1	4.3	33.3				
	石下西 (n=88)	28.4	22.7	5.7	13.6	2.3	10.2	8.0	11.4	5.7	2.3	2.3	1.1	4.5	12.5	6.8	0.0	29.5				
世 帯 構 成 別	一人暮らし (n=457)	39.6	17.9	5.3	19.5	6.6	18.6	10.1	12.0	5.5	5.0	5.0	3.5	5.5	8.3	8.3	2.6	26.0				
	夫婦のみの世帯 (n=386)	38.3	15.5	4.4	10.9	2.3	10.9	4.4	7.0	3.9	3.6	5.2	1.6	4.1	6.0	6.7	3.1	32.6				
	子ども世帯と同居 (n=192)	29.7	13.0	2.1	10.4	3.6	22.4	1.6	6.3	2.1	2.1	3.6	2.1	6.8	5.7	8.3	4.2	32.8				
免 許 保 有 状 況 別	免許を持っており、今のところ返納の予定はない (n=596)	33.7	15.1	4.4	8.7	3.2	5.4	5.0	5.5	2.0	2.3	2.9	1.7	3.4	6.2	4.2	3.7	40.9				
	免許を持っているが、今後1年以内に返納する予定である (n=43)	41.9	11.6	4.7	14.0	4.7	11.6	7.0	18.6	7.0	9.3	9.3	4.7	7.0	7.0	14.0	0.0	23.3				
	免許をすでに返納した (n=135)	41.5	23.0	8.9	24.4	9.6	37.0	7.4	14.8	3.0	6.7	9.6	4.4	9.6	8.1	14.8	3.0	14.1				
	もともと免許を持っていない (n=286)	43.7	16.4	2.8	22.0	5.2	30.4	7.7	12.2	9.1	5.2	5.9	3.1	7.7	9.1	11.2	2.4	13.3				

問 21：あなたは買い物環境を改善するために、どんなことが必要だと思いますか。

■買い物環境改善のために必要なことは「お店の誘致」「送迎サービス」「商品の充実」が上位。属性によるニーズの差もみられるが、特に運転免許返納者（予定含む）は移動手段の利用負担軽減が重要。

○全体：「特にない」の割合は、25.5%で最も高く、次いで「住居の近くへのお店の誘致」が 24.1%、「買い物に行きたいお店への移動手段（送迎サービス）」が 18.9%、「住居の近くのお店の商品の充実」が 14.9%となっている。

○年齢別：各年齢層で「住居の近くへのお店の誘致」が 20%～25%前後となっている。80 歳～84 歳と 85 歳～89 歳では「買い物に行きたいお店への移動支援（送迎サービス）」が 20%を超え、他の年齢層と比較してやや高い。

○居住地別：鬼怒中学校区では「住居の近くへのお店の誘致」が 33.0%、水海道西中学校北地区・南地区では「公共交通機関（バスや鉄道の充実）」がそれぞれ 17.0%、20.2%と他地区と比べてやや高い。「買い物に行きたいお店への移動支援（送迎サービス）」は、水海道中学校区及び石下中学校区を除く各地区で 20%を超えており、お店の誘致と併せて地域におけるニーズが高いことが分かる。

○世帯構成別：一人暮らし世帯と夫婦のみの世帯では「買い物に行きたいお店への移動支援（送迎サービス）」と「移動販売（行商等）」の割合が、子ども世帯と同居している世帯に比べて高くなっており、世帯構成による差がみられる。

○免許保有状況別：「買い物に行きたいお店への移動支援（送迎サービス）」は、運転免許を返納する予定がない対象者では 12.8%である一方、その他の対象者では 20%～30%と免許の保有状況や返納予定の有無により差がみられる。また、運転免許の返納予定がない対象者では、「特にない」も 34.4%と他の属性と比較しても最も高いことから、買い物における自動車の重要性が高いことが窺える。

運転免許を今後 1 年以内に返納予定である対象者及び既に返納した対象者では「公共交通機関やタクシー等の利用料金への補助」が 25%程度と、高い割合となっている。運転免許の返納により、移動手段が減る（減った）ことから、代替の移動手段に対する利用負担軽減に対するニーズが高まっていると推測される。

		住居の 近くへ のお店の 誘致	住居の 近くのお 店の商品 の充実	公共交 通機関 （バスや 鉄 道）の 充実	ベンチ や休憩 所等の 設置	公共交 通機関 やタク シー等 の補助	買 い物に 行きた いお店 への移 動手段 （送迎 サービ ス）	移 動販 売（行 商等） の充 実	宅配 サービ スの充 実	家族・ 知人・ ボラン ティア	ヘル パー （訪問 介護） 等の 支援	デマ ンド タクシ ーの利 便性	街灯 や防犯 カメラ の整備	道路や お店の バリア フリー の推進	その他	特に ない
全体（N=1074）		24.1	14.9	12.2	11.2	13.5	18.9	12.0	9.6	6.4	5.2	6.8	11.5	5.6	2.1	25.5
年齢別	75歳～79歳（n=449）	24.7	14.3	11.4	10.5	11.1	15.6	9.6	7.1	5.6	2.2	6.0	12.5	5.3	2.2	29.2
	80歳～84歳（n=353）	25.8	15.3	13.0	10.8	15.3	21.0	13.9	9.6	4.5	5.7	7.9	12.2	2.8	2.3	24.9
	85歳～89歳（n=192）	20.8	17.2	14.1	12.0	17.2	25.5	15.1	13.5	12.0	10.4	7.3	8.3	9.4	1.6	20.3
	90歳以上（n=54）	18.5	7.4	7.4	13.0	9.3	13.0	11.1	16.7	9.3	7.4	3.7	11.1	13.0	3.7	16.7
居住地区別	水海道（n=351）	22.8	14.8	12.0	13.1	14.2	16.8	10.0	8.0	5.7	4.0	5.4	15.1	6.8	3.4	23.6
	鬼怒（n=109）	33.0	12.8	6.4	10.1	11.9	21.1	13.8	14.7	4.6	9.2	5.5	10.1	3.7	2.8	24.8
	水海道西（北）（n=182）	25.8	17.0	17.0	8.8	17.6	22.0	13.7	11.5	3.8	4.9	7.7	11.5	6.0	1.1	21.4
	水海道西（南）（n=109）	23.9	10.1	20.2	6.4	13.8	22.0	14.7	10.1	12.8	5.5	5.5	11.0	4.6	1.8	31.2
	石下（n=234）	20.9	15.8	7.3	13.7	10.7	14.5	12.0	7.7	7.3	5.1	8.5	7.7	5.6	1.7	28.6
	石下西（n=88）	23.9	17.0	12.5	8.0	12.5	23.9	10.2	10.2	5.7	5.7	8.0	10.2	2.3	0.0	27.3
世帯構成別	一人暮らし（n=457）	25.8	15.8	12.9	11.4	14.7	22.8	13.8	11.4	8.8	8.5	7.7	13.3	7.0	2.8	24.5
	夫婦のみの世帯（n=386）	25.4	16.1	11.4	10.4	13.7	17.1	13.2	9.8	4.1	2.3	6.5	10.6	3.4	1.6	26.9
	子ども世帯と同居（n=192）	18.2	12.5	11.5	10.4	9.9	10.9	5.7	6.3	4.7	3.6	5.7	8.9	7.3	2.1	26.0
免許保有状況別	免許を持っており、今のところ返納の予定はない（n=596）	24.0	15.4	11.4	8.6	10.4	12.8	8.4	8.2	3.5	3.4	4.7	11.2	3.4	1.8	34.4
	免許を持っているが、今後1年以内に返納する予定である（n=43）	27.9	16.3	16.3	14.0	23.3	23.3	23.3	11.6	14.0	9.3	7.0	7.0	4.7	2.3	16.3
	免許をすでに返納した（n=135）	23.0	12.6	15.6	15.6	25.2	29.6	16.3	10.4	9.6	5.9	12.6	11.1	11.9	0.7	17.0
	もともと免許を持っていない（n=286）	25.2	15.4	11.9	14.0	12.6	25.9	16.1	11.9	9.4	8.0	8.4	13.3	7.0	3.1	12.9

4. 日常生活に関する現状

(1) 日常生活における外出の現状

問 22：普段の「病院や診療所への通院」のための外出はどのくらいですか。

■通院のための外出は「月 1 回～2 回程度」が 6 割程度。地域により若干の差がみられる。

○全 体：「月 1～2 回程度」の割合が 61.3%で最も高く、次いで「その他」が 12.8%、「通院のための外出はしていない」が 5.7%「週 1 回程度」が 5.0%、となっている。

○年 齢 別：90 歳以上で「通院のための外出はしていない」が 11.1%と他の年齢層に比べやや高い。

○居住地別：水海道中学校区では「月 1～2 回程度」が 50.7%と最も低く、他地区では概ね 60%～70%程度となっている。

○世帯構成別：各世帯構成とも「月 1～2 回程度」が 60%前後となっており、大きな差はみられない。

○免許保有状況別：免許許保有状況別でも「月 1～2 回程度」が 60%前後となっており、大きな差はみられない。

		ほぼ毎日	週 2～3 回	週 1 回程度	月 1～2 回程度	その他	は通院のための外出	無効	無回答
全体 (N=1074)		1.5	3.0	5.0	61.3	12.8	5.7	1.7	9.0
年齢別	75歳～79歳 (n=449)	1.6	3.1	5.8	58.8	12.7	8.0	0.7	9.4
	80歳～84歳 (n=353)	1.7	2.8	4.0	63.2	13.9	3.1	2.8	8.5
	85歳～89歳 (n=192)	0.5	3.1	4.7	64.6	11.5	3.1	2.6	9.9
	90歳以上 (n=54)	1.9	1.9	5.6	57.4	16.7	11.1	0.0	5.6
居住地区別	水海道 (n=351)	1.7	3.4	6.0	50.7	21.7	6.8	1.4	8.3
	鬼怒 (n=109)	1.8	2.8	3.7	69.7	8.3	3.7	2.8	7.3
	水海道西（北） (n=182)	1.6	4.4	3.3	59.3	12.1	4.9	1.1	13.2
	水海道西（南） (n=109)	0.0	0.9	6.4	67.9	5.5	5.5	2.8	11.0
	石下 (n=234)	0.9	1.7	5.1	66.2	8.5	7.7	1.7	8.1
	石下西 (n=88)	3.4	4.5	4.5	73.9	5.7	1.1	1.1	5.7
世帯構成別	一人暮らし (n=457)	1.5	2.8	5.5	61.9	11.6	6.3	1.5	8.8
	夫婦のみの世帯 (n=386)	1.8	3.4	4.4	63.0	14.0	4.1	1.6	7.8
	子ども世帯と同居 (n=192)	1.0	2.6	4.7	57.3	14.6	6.8	2.1	10.9
免許保有状況別	免許を持っており、今のところ返納の予定はない (n=596)	1.5	2.2	4.9	64.1	12.6	5.5	0.8	8.4
	免許を持っているが、今後 1 年以内に返納する予定である (n=43)	2.3	9.3	2.3	62.8	16.3	0.0	4.7	2.3
	免許をすでに返納した (n=135)	1.5	3.7	6.7	57.0	12.6	5.9	3.0	9.6
	もともと免許を持っていない (n=286)	1.4	2.8	5.2	57.3	12.9	6.6	2.4	11.2

問 23：あなたが普段、買い物や通院以外で外出するのはどこですか。

■主な外出先は家族や友人等の家。外出していない割合は全体で2割程度だが、属性により差がみられる。

- 全 体：「家族・親戚の家」の割合が30.9%で最も高く、次いで「友人・知人の家」が24.4%、「買い物や通院以外の外出はしていない」が17.6%、「趣味のサークル活動のための施設」が16.5%となっている。
- 男 女 別：女性で「友人・知人の家」が29.5%と、男性に比べて高い。
- 年 齢 別：「買い物や通院以外の外出はしていない」の割合は、概ね年齢が上がるにつれて高くなり、その他の項目については概ね年齢が上がるともに割合が低くなる（特に「趣味のためのサークル活動の施設」で顕著）ことから、加齢とともに外出頻度が下がる傾向にあると言える。
- 居住地別：水海道中学校区、水海道西中学校北地区、水海道西中学校南地区で「趣味のサークル活動のための施設」の割合が20%程度となっており、他地区と比べてやや高い。
鬼怒中学校区、石下西中学校区では「買い物や通院以外の外出はしていない」が20%を超えており、他地区と比べてやや高い。
- 世帯構成別：一人暮らし世帯で「趣味のサークル活動の施設」が18.8%と他の世帯構成と比べて高くなっているが、「買い物や通院以外の外出はしていない」も19.5%となっており、同じ独居世帯であっても外出の傾向に差がみられる。
- 免許保有状況別：免許保有者のうち、免許返納予定のない対象者は「趣味のサークル活動のための施設」が20.6%と最も高く、「買い物や通院以外の外出はしていない」は10.9%と最も低くなっていることから、免許の有無に加え免許返納意思の有無によっても外出の傾向が異なる。

		趣味のサークル活動のための施設	公園	居酒屋・飲食店	家族・親戚の家	友人・知人の家	寺社・教会等	娯楽・遊戯施設（パチンコ店等）	スポーツ施設	入浴施設	その他	買い物や通院以外の外出はしていない
全体 (N=1074)		16.5	6.1	6.7	30.9	24.4	4.6	4.4	7.4	8.0	11.5	17.6
性別	男性 (n=555)	13.9	8.5	6.3	28.5	19.6	4.5	5.6	8.3	8.8	12.3	16.9
	女性 (n=515)	19.4	3.5	7.2	33.4	29.5	4.7	2.9	6.6	7.2	10.9	18.4
年齢別	75歳～79歳 (n=449)	19.2	7.6	10.5	31.6	28.5	4.0	6.0	8.9	10.2	12.7	13.6
	80歳～84歳 (n=353)	17.6	6.2	4.8	31.7	24.6	4.2	3.1	7.6	5.9	10.8	16.7
	85歳～89歳 (n=192)	13.0	2.1	3.1	30.2	17.2	5.7	2.6	4.7	6.3	11.5	26.6
	90歳以上 (n=54)	3.7	5.6	1.9	22.2	18.5	9.3	1.9	0.0	7.4	13.0	22.2
居住地区別	水海道 (n=351)	19.7	5.4	6.8	29.6	23.4	5.4	4.3	8.3	6.0	12.3	16.8
	鬼怒 (n=109)	11.9	7.3	5.5	31.2	22.9	1.8	7.3	9.2	7.3	7.3	22.0
	水海道西（北） (n=182)	18.1	4.4	7.7	33.0	25.8	6.6	3.8	5.5	9.9	9.9	19.8
	水海道西（南） (n=109)	19.3	11.0	8.3	25.7	23.9	5.5	4.6	3.7	8.3	17.4	15.6
	石下 (n=234)	12.4	5.6	6.0	33.3	25.6	3.8	3.4	7.7	10.3	12.0	15.4
	石下西 (n=88)	13.6	5.7	5.7	29.5	22.7	1.1	4.5	10.2	6.8	9.1	20.5
世帯構成別	一人暮らし (n=457)	18.8	4.8	6.3	27.8	25.8	5.3	5.5	7.4	8.1	10.7	19.5
	夫婦のみの世帯 (n=386)	16.8	8.8	6.7	32.1	20.7	3.9	3.6	9.1	7.8	13.0	17.6
	子ども世帯と同居 (n=192)	10.9	4.2	8.3	37.0	27.1	4.2	3.1	4.7	8.9	11.5	13.0
免許保有状況別	免許を持っており、今のところ返納の予定はない (n=596)	20.6	7.4	7.6	34.2	26.5	4.2	5.7	10.7	10.4	12.8	10.9
	免許を持っているが、今後1年以内に返納する予定である (n=43)	16.3	0.0	2.3	25.6	20.9	7.0	0.0	2.3	2.3	18.6	27.9
	免許をすでに返納した (n=135)	6.7	6.7	5.2	22.2	15.6	4.4	5.2	3.7	5.2	9.6	28.1
	もともと免許を持っていない (n=286)	12.9	3.8	6.6	28.3	25.5	5.2	2.1	3.5	5.6	8.7	24.5

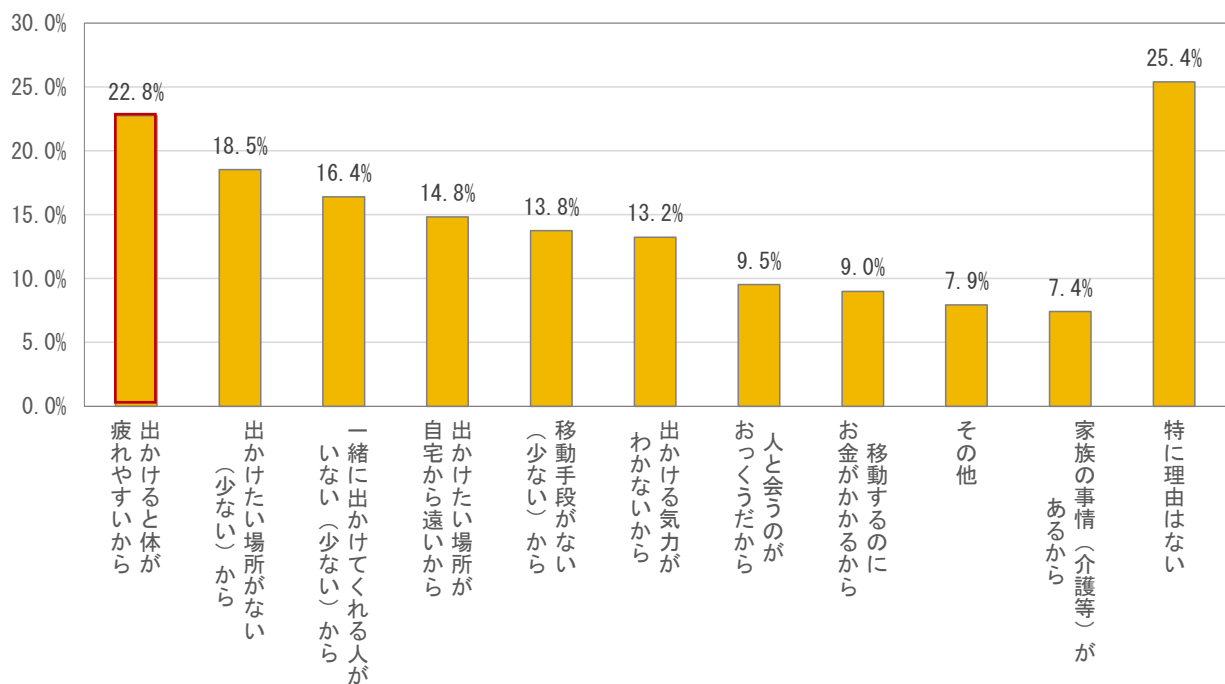
問 24：あなたが普段、買い物や通院以外の外出をしていない理由をお答え下さい。

■外出をしない主な理由は「体が疲れやすいから」。出かけたい場所や同行者の少なさも上位。

○「特に理由はない」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「出かけると体が疲れやすいから」が 22.8%、「出かけたい場所がない（少ない）から」が 18.5%、「一緒に出かけてくれる人がいない（少ない）から」が 16.4%となっている。

外出する場の少なさに加えて、一緒に出かけてくれる人の少なさも上位にあることから、外出の目的となる場の創出・拡大、ご近所同士の誘い合いや声かけ、外出時の同行支援（付き添い）が重要であると考えられる。

N=189



(2) 日常生活上の困りごと・解決方法

問 25：あなたが日常生活を送る上で困っていることは何ですか。

■日常生活における主な困りごとは「庭の手入れ」。「電球の交換」や「年末の大掃除」等の体力を要する作業や遠い場所への外出も高い。一人暮らし世帯では特に各項目に対する割合が高く、重点的な支援が必要。

- 全 体：「特に困っていることはない」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「庭の手入れ」が 21.1%、「遠い場所への外出」が 15.9%、「年末の大掃除」が 14.8%となっている。
- 男 女 別：「電球の交換」、「布団干し」、「年末の大掃除」、「庭の手入れ」等の体力を要する作業や遠い場所への外出については、女性で高い割合となっている一方で、「特に困っていることはない」は男性で 40.5%となっており、男女間で差がみられる。
- 年 齢 別：概ね年齢が上がるにつれて各項目の割合が高くなる傾向にあるが、「電球の交換」、「布団干し」、「年末の大掃除」、「庭の手入れ」については 90 歳以上で割合が下がっている。問 20 でみたように、90 歳前後から既に家族等の支援を受けている高齢者の割合が高くなることが影響していると推測される。
- 居住地別：鬼怒中学校区と石下西中学校区で「遠い場所への外出」が 20%を超えているほか、水海道西中学校南地区と石下西中学校区で「通院」が 15%程度となっており、日常生活における移動に関する困りごとがやや高い地域であると言える。その他、水海道西中学校南地区で「ゴミの分別・ゴミ出し」が 18.3%、水海道西中学校南地区と石下西中学校区では「庭の手入れ」が 25%超とやや高い割合となっている。
- 世帯構成別：概ね一人暮らし世帯で各項目の回答割合が高い傾向にあるが、特に「電球の交換」、「布団干し」、「庭の手入れ」等の体力を要する作業で特に割合が高くなっている。一方で、「特に困っていることはない」は 23.9%と最も低くなっていることから、一人暮らし世帯への支援が特に重要であると考えられる。

		食事の準備・片付け	部屋の掃除・片付け	風呂・トイレ等の掃除	衣服の洗濯・片付け	ゴミの分別・ゴミ出し	買い物	近所への外出	遠い場所への外出	電球の交換	布団干し	年末の大掃除	季節の衣服入れ替え	薬の管理	通院	預貯金の出し入れ・支払金等	花や木の水やり	庭の手入れ	犬の散歩等話	その他	特に困っていない
全体 (N=1074)		8.0	11.4	11.5	4.2	9.2	8.1	3.3	15.9	14.2	12.6	14.8	5.6	2.4	9.9	5.2	5.9	21.1	0.9	0.7	33.1
性別	男性 (n=555)	7.7	10.3	8.8	4.5	7.6	5.6	2.7	11.9	6.5	6.3	9.4	5.2	2.7	7.6	4.0	5.2	16.8	1.1	0.9	40.5
	女性 (n=515)	8.3	12.4	14.2	3.9	10.9	10.9	3.9	20.4	22.7	19.2	20.8	6.0	2.1	12.2	6.6	6.4	25.6	0.8	0.4	25.4
年齢別	75歳～79歳 (n=449)	5.6	7.8	8.0	2.4	5.6	3.6	0.9	13.6	10.5	7.8	10.2	3.1	0.9	4.5	3.6	3.6	18.7	0.2	0.7	39.4
	80歳～84歳 (n=353)	8.2	11.9	14.2	4.8	8.2	8.8	3.4	15.3	12.7	14.4	15.9	5.7	2.3	10.2	4.2	6.2	21.2	1.4	0.6	34.6
	85歳～89歳 (n=192)	13.5	16.7	14.6	6.3	15.6	15.1	7.3	20.8	25.0	20.3	24.0	9.9	4.2	18.2	10.4	10.4	28.1	2.1	0.5	18.2
	90歳以上 (n=54)	11.1	20.4	13.0	9.3	22.2	18.5	9.3	20.4	18.5	13.0	14.8	9.3	11.1	24.1	9.3	5.6	18.5	0.0	1.9	24.1
居住地別	水海道 (n=351)	5.7	11.1	11.4	2.8	8.0	6.6	2.3	13.4	14.2	11.1	16.5	6.0	1.7	8.3	4.3	5.7	19.9	0.3	0.3	34.8
	鬼怒 (n=109)	6.4	10.1	12.8	3.7	7.3	6.4	5.5	22.0	14.7	11.0	15.6	2.8	3.7	9.2	5.5	6.4	21.1	0.0	0.0	33.9
	水海道西（北） (n=182)	8.2	9.3	9.3	3.8	9.3	7.7	3.3	13.7	13.7	13.2	12.6	6.6	1.6	7.1	6.0	6.6	22.5	0.5	2.2	29.1
	水海道西（南） (n=109)	9.2	11.9	14.7	4.6	18.3	8.3	4.6	12.8	12.8	12.8	11.9	6.4	3.7	14.7	3.7	2.8	28.4	0.0	0.0	32.1
	石下 (n=234)	9.8	12.8	12.8	5.1	7.7	10.3	3.0	17.1	13.7	13.7	15.4	5.1	3.0	10.3	6.4	6.0	17.5	2.1	0.4	35.9
	石下西 (n=88)	12.5	13.6	9.1	6.8	9.1	11.4	3.4	22.7	18.2	14.8	13.6	5.7	2.3	14.8	5.7	6.8	25.0	3.4	1.1	28.4
世帯構成別	一人暮らし (n=457)	10.9	14.9	15.3	5.3	13.3	10.1	3.3	17.3	23.6	18.4	19.5	7.4	3.1	10.9	7.4	6.6	26.7	0.7	0.7	23.9
	夫婦のみの世帯 (n=386)	6.7	8.3	10.1	4.1	7.8	4.9	1.8	15.3	8.5	8.0	13.5	5.2	1.8	8.3	4.4	4.9	19.2	1.3	1.0	40.2
	子ども世帯と同居 (n=192)	4.7	7.8	6.8	1.6	3.1	10.9	6.3	15.1	4.2	8.3	8.3	3.1	2.6	12.0	2.6	5.2	14.6	1.0	0.0	39.6

問 26：問 25 で日常生活の困りごとに 1 つ以上チェックをした方にお尋ねします。その困りごとはどのように解決していますか。

■日常生活の困りごとは半数超が「自力で何とかしている」。属性により差もみられる。

- 全 体：「自力で何とかしている」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「家族や親戚の手助け」が 43.6%、「友人・知人の手助け」が 10.2%、「近くに住む人の手助け」が 9.3%となっている。
- 男 女 別：女性で「家族や親戚手助け」の割合が 52.6%となっており、男女間で差がみられる。
- 年 齢 別：「家族や親戚手助け」と「近くに住む人の手助け」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっている一方で、「自力で何とかしている」の割合は年齢が上がるにつれて低くなっている。
- 居住地別：各地区とも「自力でなんとかしている」が 40%～50%前後となっている。
水海道西中学校北地区では「家族や親戚の手助け」が 37.4%と他地区に比べてやや低く、石下西中学校区では「近くに住む人の手助け」が 22.4%と他地区に比べて高くなるなど、地域差がみられる。
また、鬼怒中学校区では「解決できずに困っている」が 10.7%となっており、特に支援を必要とする高齢者の割合が高い地区であると言える。
- 世 帯 構 成 別：一人暮らし世帯と夫婦のみの世帯で「自力で何とかしている」の割合が 50%を超えている。その他の項目については、一人暮らし世帯で「家族や親戚の手助け」を除く各項目で他の世帯構成よりも割合が高い傾向にある。
-

		家族や親戚の手助け	近くに住む人の手助け	友人・知人の手助け	ボランティアの手助け	シルバー人材センターのサービス	介護保険等のサービス	民間事業者のサービス	自力で何とかしている	その他	解決できずに困っている
全体 (N=537)		43.6	9.3	10.2	1.5	8.8	6.1	6.1	51.2	1.9	5.2
性別	男性 (n=232)	31.5	5.6	7.8	0.9	5.2	6.5	3.9	56.9	2.6	5.6
	女性 (n=302)	52.6	12.3	12.3	2.0	11.6	6.0	7.9	47.0	1.3	5.0
年齢別	75歳～79歳 (n=191)	35.6	5.8	10.5	0.0	7.3	2.6	7.3	59.7	0.5	6.3
	80歳～84歳 (n=176)	39.8	9.7	11.4	2.3	7.4	5.1	4.0	47.2	3.4	6.3
	85歳～89歳 (n=125)	55.2	11.2	8.0	3.2	13.6	12.8	8.0	48.8	2.4	3.2
	90歳以上 (n=31)	71.0	19.4	9.7	0.0	6.5	9.7	6.5	32.3	0.0	3.2
居住地区別	水海道 (n=175)	43.4	5.7	8.6	1.1	5.7	3.4	7.4	48.0	1.7	4.0
	鬼怒 (n=56)	48.2	3.6	5.4	3.6	14.3	3.6	3.6	55.4	0.0	10.7
	水海道西（北） (n=91)	37.4	9.9	8.8	2.2	9.9	5.5	8.8	56.0	3.3	4.4
	水海道西（南） (n=56)	51.8	10.7	10.7	0.0	14.3	16.1	8.9	42.9	1.8	3.6
	石下 (n=109)	42.2	11.0	14.7	0.9	5.5	4.6	1.8	54.1	1.8	5.5
	石下西 (n=49)	44.9	22.4	12.2	2.0	12.2	12.2	6.1	51.0	2.0	6.1
世帯構成別	一人暮らし (n=278)	44.2	13.7	12.9	1.8	11.2	6.1	9.0	51.1	1.8	6.1
	夫婦のみの世帯 (n=168)	35.7	4.8	7.1	1.2	4.8	6.5	3.6	58.3	3.0	4.2
	子ども世帯と同居 (n=79)	58.2	3.8	7.6	0.0	8.9	6.3	2.5	34.2	1.3	3.8

(3) 日常生活の支援者の有無

問 27：あなたの日常生活を支援してくれる人はいますか。

■対象者の約半数は普段の生活や緊急時に支援してくれる人がある。年齢や世帯構成では差がみられる。

- 全 体：「病気や緊急時に支援してくれる人がある」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「普段の生活を支援してくれる人がある」が 46.0%、「支援してくれる人がいない」が 12.3%となっている。
- 男 女 別：女性で「病気や緊急時に支援してくれる人がある」が 53.4%と高くなっているが、その他の項目では男女間で大きな差はみられない。
- 年 齢 別：90 歳以上では「普段の生活を支援してくれる人がある」の割合が 68.5%と最も高い。「病気や緊急時に支援してくれる人がある」の割合は年齢が上がるにつれて低くなっている。
- 居住地別：各地区とも「普段の生活を支援してくれる人がある」、「病気や緊急時に支援してくれる人がある」の割合が 40%～50 前後となっており、大きな差はみられない。
- 世帯構成別：一人暮らし世帯では「普段の生活を支援してくれる人がある」が 35.2%と他の世帯構成に比べて低く、一方で、「支援してくれる人がいない」は 17.5%と最も高いことから、一人暮らし世帯への日常生活における支援のあり方の検討が重要であると言える。

		く 普 れる の 生 活 を 支 援 し て	し 病 気 や 緊 急 時 に 支 援	い 支 援 し て く れ る 人 が	無 効	無 回 答
全体 (N=1074)		46.0	47.5	12.3	0.8	12.4
性 別	男性 (n=555)	47.4	42.2	13.9	0.7	12.8
	女性 (n=515)	44.5	53.4	10.3	1.0	12.0
年 齢 別	75歳～79歳 (n=449)	39.0	49.9	14.3	0.7	11.6
	80歳～84歳 (n=353)	51.8	47.0	9.6	0.0	14.2
	85歳～89歳 (n=192)	45.3	46.9	12.5	2.6	13.0
	90歳以上 (n=54)	68.5	38.9	7.4	1.9	5.6
居 住 地 区 別	水海道 (n=351)	44.2	46.4	12.0	1.1	15.4
	鬼怒 (n=109)	47.7	51.4	14.7	0.0	7.3
	水海道西（北） (n=182)	44.0	46.7	12.6	0.0	13.2
	水海道西（南） (n=109)	48.6	55.0	9.2	0.0	10.1
	石下 (n=234)	47.0	43.6	12.8	1.3	12.0
	石下西 (n=88)	50.0	48.9	11.4	2.3	9.1
世 帯 構 成 別	一人暮らし (n=457)	35.2	51.4	17.5	1.5	10.9
	夫婦のみの世帯 (n=386)	43.8	44.8	12.2	0.5	15.5
	子ども世帯と同居 (n=192)	71.4	43.2	2.6	0.0	9.4

（４）日常生活や福祉に関する情報の入手先・改善点等

問 28：あなたは日常生活や福祉に関する情報をどこから入手していますか。

■市の広報誌・パンフレットが重要な情報源。テレビや新聞等のマスメディアに加えて家族や知人・友人等の Face to Face の情報共有も。年齢、居住地区、世帯構成によっては民生委員やケアマネージャー等もやや高い。

- 全 体：「市の広報誌・パンフレット」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」が 34.1%、「家族・親戚」が 30.4%、「新聞・雑誌」が 29.9%となっている。
- 男 女 別：女性で「近隣に住む人」が 28.5%、「友人・知人」が 32.2%と男性より高い割合となっているが、その他の項目については大きな差は見受けられない。
- 年 齢 別：年齢が上がるにつれて「家族・親戚」の割合が高くなっている。また、「ケアマネージャー・デイサービス等の介護保険サービス事業者」も年齢に比例して割合が高くなるが、特に 80 歳以上から 10%を超えており、実際のサービスの利用状況を反映しているものと推測される。その他、90 歳以上では「新聞・雑誌」が 18.5%と他の年齢層と比較して低くなっている。
- 居住地別：鬼怒中学校区、水海道西中学校南地区、石下中学校区で「民生委員」の割合が 10%を超え、他地区よりやや高い割合となっている。その他、鬼怒中学校区では「社会福祉協議会」が 10.1%、石下西中学校区では「医療機関」が 11.4%、「ケアマネージャー・デイサービス等の介護保険サービス事業者」が 13.6%と他地区より高くなっており、地域により若干の差がみられる。
- 世帯構成別：「家族・親戚」については、一人暮らし世帯で 24.1%、夫婦のみの世帯で 30.1%、子ども世帯と同居世帯で 45.8%と世帯構成に応じた差がみられる。また、一人暮らし世帯で「民生委員」が 11.4%とやや高くなっていることから、一人暮らし世帯における有力な情報提供方法として活用できる余地があると言える。

		家族・親戚	近隣に住む人	友人・知人	市の広報誌・パンフレット	その他のパンフレット	民生委員	市のホームページ	その他のホームページ	市役所の担当課	地域包括支援センター	社会福祉協議会	医療機関	ケアマネージャー・デイサービス等の介護保険サービス事業者	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	チラシ・折り込み広告	インターネット・スマートフォン含む	その他	特にない
全体 (N=1074)		30.4	22.8	26.5	55.7	8.5	7.5	7.0	0.4	6.1	3.4	6.8	6.7	8.3	34.1	29.9	19.0	3.4	0.9	6.2
性別	男性 (n=555)	29.4	17.5	21.4	58.0	9.7	5.4	7.4	0.5	5.8	2.9	6.5	7.6	6.7	37.1	33.9	20.7	4.7	1.3	7.7
	女性 (n=515)	31.5	28.5	32.2	53.6	7.2	9.7	6.6	0.2	6.6	3.9	7.2	5.8	9.9	31.1	25.8	17.3	1.9	0.6	4.5
年齢別	75歳～79歳 (n=449)	23.8	23.6	29.0	56.1	7.8	7.3	5.8	0.7	6.9	2.7	7.3	7.1	4.0	34.3	28.5	20.5	4.0	0.7	7.8
	80歳～84歳 (n=353)	33.4	23.8	26.9	56.9	9.3	6.8	7.9	0.3	4.5	3.7	7.1	5.4	10.5	35.4	32.3	17.0	3.1	0.6	6.2
	85歳～89歳 (n=192)	36.5	19.3	21.9	56.3	9.4	9.9	8.9	0.0	7.3	5.2	6.3	8.9	13.0	31.8	32.8	21.4	3.1	2.1	3.1
	90歳以上 (n=54)	42.6	22.2	24.1	51.9	7.4	3.7	5.6	0.0	5.6	1.9	5.6	5.6	14.8	38.9	18.5	13.0	1.9	0.0	3.7
居住地区別	水海道 (n=351)	27.9	22.5	27.1	59.8	8.5	3.7	7.1	0.3	7.1	3.7	7.7	6.8	8.3	31.6	29.3	19.1	2.8	0.9	7.1
	鬼怒 (n=109)	37.6	23.9	24.8	59.6	9.2	10.1	5.5	0.9	7.3	5.5	10.1	8.3	4.6	36.7	23.9	22.9	5.5	0.9	4.6
	水海道西（北） (n=182)	33.5	21.4	27.5	52.2	8.8	7.7	8.8	0.5	6.0	4.4	7.7	7.1	9.9	39.0	36.8	18.7	2.7	0.5	4.4
	水海道西（南） (n=109)	32.1	22.0	25.7	53.2	9.2	11.9	9.2	0.9	3.7	3.7	7.3	6.4	10.1	39.4	33.0	22.9	5.5	1.8	6.4
	石下 (n=234)	25.6	22.6	25.6	49.6	6.8	10.7	5.1	0.0	4.7	1.7	3.4	3.8	6.0	26.9	26.5	15.8	1.3	0.9	7.7
	石下西 (n=88)	35.2	27.3	28.4	60.2	10.2	6.8	6.8	0.0	8.0	1.1	4.5	11.4	13.6	43.2	30.7	18.2	6.8	1.1	4.5
世帯構成別	一人暮らし (n=457)	24.1	25.2	28.4	53.4	7.0	11.4	7.2	0.2	7.0	3.5	7.4	5.3	6.8	33.9	27.1	15.5	2.2	0.9	8.1
	夫婦のみの世帯 (n=386)	30.1	21.8	23.3	60.6	11.1	5.4	7.3	0.3	6.0	3.1	7.3	8.5	9.8	36.8	35.5	24.1	3.9	1.0	4.9
	子ども世帯と同居 (n=192)	45.8	19.3	30.2	51.6	6.8	3.1	6.8	0.5	4.2	3.6	5.2	6.3	7.3	30.7	27.6	19.8	4.7	0.5	4.2

問 29：あなたの日常生活に関する情報で、もっと発信・充実してほしい内容はどれですか。

- 発信・充実してほしい内容は「健康づくり」「医療」「年金」。年齢、居住地区、世帯構成によって発信・充実してほしい情報に差がみられる。
- 全 体：「特にない」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「健康づくり」が 24.1%、「医療」が 14.3%、「年金」が 13.2%となっている。
- 男 女 別：概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられない。
- 年 齢 別：85 歳～89 歳では、「普段の食事に関すること（配食、宅配）」が 15.1%、「在宅ケア、介護・介助、家事援助等の生活上の世話」が 21.4%、「心配事・悩み事に関する相談」が 16.7%と他の年齢層より高い割合となっている。また、75 歳～79 歳と 80 歳～84 歳では「年金」がやや高い割合となっている。
- 居住地別：水海道西中学校南地区で「在宅ケア、介護・介助、家事援助等生活上の世話」の割合が 22.0%、石下西中学校区で「医療」が 22.7%と他地区に比べてやや高い割合となっている。また、両地区では「心配事・悩み事に関する相談」の割合もやや高くなっている。その他、水海道中学校区と石下中学校区を除く各地区では「普段の食事に関すること（配食、宅配）」が 10%を超えている。
- 世帯構成別：一人暮らし世帯では「普段の食事に関すること（配食、宅配）」、「在宅ケア、介護・介助、家事援助等生活上の世話」がそれぞれ 13.8%となっており、他の世帯構成に比べて高い割合となっている。

		健康づくり	地域の行事・催事	社会奉仕、ボランティア活動	介護用品	普段の食事に関すること（配食、宅配）	趣味	スポーツ	年金	医療	教育講座、文化的な催しの学習活動	住まい（高齢者向け住宅の供給・増改築・手直し等）	在宅ケア、介護・介助、家事援助等の生活上の世話	心配事・悩み事に関する相談	その他	特にない
全体（N=1074）		24.1	9.0	4.4	4.2	8.8	8.9	2.6	13.2	14.3	6.1	8.1	10.7	9.9	1.8	29.2
性別	男性（n=555）	21.3	9.9	3.1	3.1	7.0	9.4	3.4	14.1	16.0	5.8	7.7	9.7	9.2	1.4	33.2
	女性（n=515）	27.0	8.2	5.8	5.4	10.7	8.5	1.7	12.0	12.6	6.4	8.5	11.8	10.7	2.1	25.2
年齢別	75歳～79歳（n=449）	22.3	8.7	4.9	2.7	6.7	9.6	3.3	12.9	13.1	7.1	7.8	7.1	8.5	1.1	31.4
	80歳～84歳（n=353）	28.0	11.3	4.8	3.4	8.5	9.1	3.7	16.1	15.6	3.7	7.4	10.8	7.9	1.7	28.9
	85歳～89歳（n=192）	24.5	7.3	3.1	9.4	15.1	10.4	0.0	9.4	16.7	9.9	11.5	21.4	16.7	2.6	22.9
	90歳以上（n=54）	11.1	3.7	3.7	3.7	5.6	1.9	0.0	9.3	7.4	1.9	5.6	3.7	11.1	5.6	37.0
居住地区別	水海道（n=351）	23.6	9.4	4.3	5.7	7.1	11.1	1.4	15.4	13.7	6.3	6.6	9.1	8.5	2.3	29.1
	鬼怒（n=109）	27.5	9.2	3.7	3.7	11.9	6.4	0.0	11.0	16.5	4.6	11.0	11.9	9.2	0.9	27.5
	水海道西（北）（n=182）	28.6	8.2	3.3	1.6	11.0	9.9	2.7	10.4	12.1	9.9	8.2	6.0	8.8	1.1	25.8
	水海道西（南）（n=109）	25.7	10.1	9.2	6.4	11.0	11.9	3.7	14.7	16.5	5.5	9.2	22.0	14.7	3.7	26.6
	石下（n=234）	19.2	8.5	3.4	2.1	6.4	6.8	4.3	12.0	11.5	4.7	7.7	9.4	9.4	0.9	34.2
	石下西（n=88）	23.9	9.1	4.5	5.7	10.2	3.4	4.5	13.6	22.7	3.4	10.2	14.8	13.6	2.3	29.5
世帯構成別	一人暮らし（n=457）	22.8	7.4	5.9	3.7	13.8	7.0	1.8	12.5	12.9	6.6	10.1	13.8	11.8	2.4	26.3
	夫婦のみの世帯（n=386）	26.2	10.9	3.6	3.9	5.2	11.1	3.4	14.5	16.1	6.2	7.5	10.4	8.3	1.6	29.0
	子ども世帯と同居（n=192）	26.6	9.9	2.6	5.7	4.2	8.9	3.1	11.5	14.6	5.7	3.6	6.3	8.3	0.5	37.0

5. 常総市について

(1) 常総市の住みやすさ

問 30：常総市は高齢者にとって住みやすいまちだと思いますか。

■住みやすいと思う（そう思う＋ややそう思う）とどちらとも言えないがほぼ同割合。

○全 体：「どちらとも言えない」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「ややそう思う」の割合が 18.2%、「あまりそう思わない」の割合が 15.5%となっている。

○男 女 別：男女とも概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられない。

○年 齢 別：年齢が上がるにつれて、「そう思う」と「ややそう思う」の合計割合が高くなっている。

○居住地別：各地区とも概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられない。

○世帯構成別：各世帯構成とも概ね同様の傾向となっており、大きな差はみられない。

		そう 思う	やや そう 思う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い	無 効	無 回 答
全体 (N=1074)		12.4	18.2	33.0	15.5	7.5	3.9	9.5
性 別	男性 (n=555)	12.6	18.0	31.0	16.0	7.7	4.0	10.6
	女性 (n=515)	12.2	18.6	34.8	15.0	7.2	3.9	8.3
年 齢 別	75歳～79歳 (n=449)	12.7	15.6	33.4	16.7	8.0	2.9	10.7
	80歳～84歳 (n=353)	11.9	19.8	32.0	13.0	7.1	5.4	10.8
	85歳～89歳 (n=192)	13.5	21.4	32.3	18.2	5.2	4.7	4.7
	90歳以上 (n=54)	11.1	25.9	35.2	11.1	9.3	0.0	7.4
居 住 地 別	水海道 (n=351)	9.7	19.9	31.6	15.4	9.7	4.8	8.8
	鬼怒 (n=109)	11.0	22.0	33.0	16.5	8.3	4.6	4.6
	水海道西（北） (n=182)	12.6	15.9	32.4	18.1	5.5	3.3	12.1
	水海道西（南） (n=109)	12.8	11.9	37.6	17.4	5.5	3.7	11.0
	石下 (n=234)	17.5	19.2	31.6	12.4	6.0	2.6	10.7
	石下西 (n=88)	11.4	17.0	36.4	13.6	9.1	4.5	8.0
世 帯 構 成 別	一人暮らし (n=457)	11.8	19.9	35.2	14.2	7.9	3.3	7.7
	夫婦のみの世帯 (n=386)	11.9	17.1	30.6	18.9	6.7	4.1	10.6
	子ども世帯と同居 (n=192)	14.6	17.2	31.3	12.5	7.3	5.2	12.0

6. 調査結果に基づく今後の施策の方向性（案）

（1）調査結果から明らかとなった圏域ごとの特徴

本調査における圏域ごとの特徴は以下のとおり。

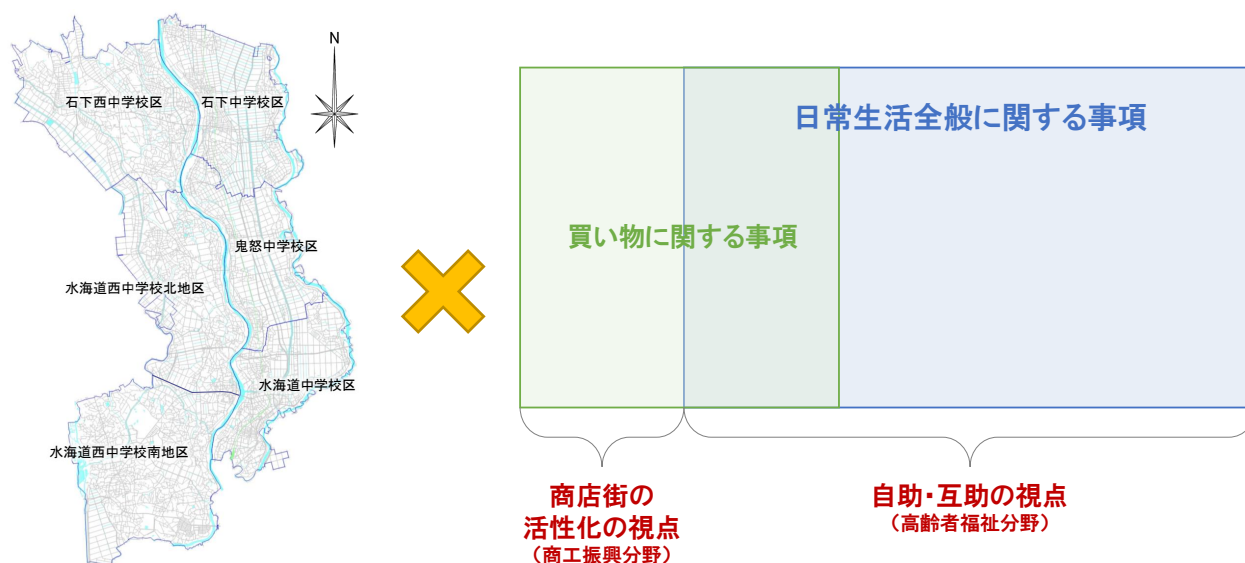
圏域名	特徴
水海道中学校区	• 比較的住居の近くに店舗が立地し、買い物の頻度も高い。運転免許の保有率は50%程度と低く、買い物時の移動手段は徒歩や自転車の利用割合が高い。 • 日常生活においても趣味のサークル活動のための外出頻度が高く、比較的良好な生活環境にあると言える。
鬼怒中学校区	• 遠方の大型ショッピングセンターでの買い物割合がやや高く、主な移動手段は自身が運転する自動車。住居の近くへのお店の誘致や移動手段の充実に対するニーズが高い。 • 日常生活では外出頻度が低く、また遠方への外出に不便を感じており、日常生活の困りごとが解決できずに困っている割合が高い。日常生活や福祉等に関する情報源としては民生委員や社会福祉協議会の割合が比較的高い。
水海道西中学校 北地区	• 自宅から徒歩で20分以上離れた店舗での買い物割合が60%を超え、自身が運転する自動車での移動割合が約50%。公共交通機関の利便性向上や移動手段の充実に対するニーズが比較的高い。 • 日常生活では趣味のサークル活動のための外出頻度が高い。日常生活における困りごとの解決方法として家族や親族の手助けの割合がやや低い。
水海道西中学校 南地区	• 自宅から徒歩で20分以上離れた店舗での買い物割合が50%程度であり、自身が運転する自動車での移動割合は50%を超える。公共交通機関の利便性向上や移動手段の充実に対するニーズが比較的高い。 • 日常生活では趣味のサークル活動のための外出頻度が高い。日常生活における主な困りごとはゴミの分別をはじめ、庭の手入れや通院等。住まいや在宅ケア等に関する情報に対するニーズもやや高い。
石下中学校区	• 自宅から徒歩で20分以上離れた店舗での買い物割合が50%程度だが徒歩10分～20分圏内の店舗の利用も比較的高く、良く購入する品目としては衣類が比較的高い。買い物時の移動手段は自身が運転する自動車の他、自転車も20%超。 • 日常生活における外出頻度や困り事については平均的な値だが、日常生活や福祉等に関する情報源としては民生委員の割合が比較的高い。
石下西中学校区	• 自宅から徒歩で20分以上離れた店舗の買い物割合が50%を超えが徒歩10分～20分圏内の店舗の利用も比較的高く、良く購入する品目としては衣類が比較的高い。買い物時の移動手段は自身が運転する自動車が約60%だが自転車も約20%。移動手段の充実に対するニーズが比較的高い。 • 日常生活の外出頻度はやや低く、遠方への外出や庭の手入れ等に不便を感じているが、近くの住民の手助けを受け解決している割合が比較的高い。医療や悩み事に関する情報へのニーズが高いことから、広報誌等に加えて医療機関やケアマネージャー等からも情報収集を行う傾向。

(2) 施策の方向性に関する考え方

以下では、(1)の圏域ごとの特性を踏まえ、買い物に関する事項及び日常生活に関する事項に関する施策の方向性について検討を加えた。

買い物に関する事項においては、高齢者の買い物に関する実態を把握し、既存商店街の活性化の視点を含めた施策の方向性について検討を加えた。

また、買い物に関する事項及び日常生活全般に関する事項の両項目については、総合事業の考え方を踏まえ、特に「自助・互助」の視点から施策の方向性について検討を加えた。



(3) 高齢者の買い物に関する施策の方向性

① 既存商店街における商品の充実

本市の高齢者が良く購入する品目としては、生鮮品が最も高く約 8 割を占めており、次いで日用品・雑貨となっている（問 12）。これらの品目は、主にスーパーマーケットや大型ショッピングセンターで購入される傾向にあり、地域の商店街には特にニーズの高い生鮮品を取り扱う商店が少ない（問 13）ことから、あまり利用されてない傾向にあると推測される（問 17）。

従って、既存商店街においても高齢者の消費動向を踏まえた商品の充実が必要である。その際、スーパーマーケットや大型ショッピングセンター等の大量仕入れ・大量販売による商品の低コスト化を実現している量販店との競合を避け、地域ならではの商品を販売する商店街の「質販店」化により差別化を図ることが望ましい。

② 住居の近くでの商品販売

最寄りの生鮮食品販売店までの距離は水海道中学校区を除く全ての地区で「20 分以上」の割合が 40%を超えており（問 14）、特に、水海道西中学校北地区では 50%超、鬼怒中学校区では同 60%超と、住居の近くに生鮮品販売店が少ない傾向にある。さらに上記 2 地区では、買い物時の困りごととして「買いたい品物を売っているお店が近くにないこと」が 50%前後となっており、喫緊の課題となっている（問 20）。

加えて、買い物環境の改善に必要なこととして、「住居の近くへのお店の誘致」「住居の近くのお店の商品の充実」の割合が比較的高い傾向にあることから、住居から歩いて行ける範囲で買い物をしたいというニーズが高いことが分かる（問 21）。

従って、商店自らが高齢者のもとに出向き、高齢者のニーズに合った商品を販売する取り組み（例：出張商店街、マルシェ等）が効果的であると考えられる。なお、高齢者が買い物のために外出する時間帯は、午前では 10 時～11 時台、午後では 14 時～15 時台が多い傾向にあることから（問 11）、これらの時間帯に合わせて上記の取り組みを実施することで、より効果的な施策となると考えられる。

③ まちなかの移動手段の充実

上記②に関連し、買い物環境の改善に必要なこととして、「買い物に行きたいお店への移動手段の充実（送迎サービス）」も比較的高い割合であり、特に一人暮らし世帯や夫婦のみ世帯で高くなっている（問 21）。また、自動車運転免許の返納者及び返納予定者については、移動手段の充実に加え「公共交通機関やタクシー等の利用料金の補助」が高い割合となっており、自動車の代替手段を利用する際の負担軽減が重要である。当市においては、高齢化が今後も進展することが見込まれており、まちなかの移動手段の充実等に関する重要性は高まっていくと推測される。

従って、元気な高齢者を含めた地域住民を、地域を支える人財（地域人財）と捉え、買い物のための外出に不便を感じている高齢者を、地域人財が乗り合いで買い物に連れ出す等の取り組みの担い手として活用することが有効な手段の一つであると考えられる。副次的には見守りや声かけ等と同様の効果も期待され、地域コミュニティの形成・強化にも貢献すると考えられる。

また、免許返納者に対する代替移動手段への助成等による利用促進施策や、高齢者が外出する時間帯に合わせた利便性向上施策の検討も重要であると考えられる。

(4) 日常生活全般（買い物除く）に関する施策の方向性

① 外出を促進する環境づくり

外出先として「家族・親戚の家」「知人・友人の家」が上位2つを占めている一方で、「買い物や通院以外の外出はしていない」が17.6%で第3位となっており（問23）、約6人に1人は外出をあまりしていない現状にある。外出をしていない割合は、年齢が上がるとともに増加する傾向にあり、気力や体力の低下が主な原因であると推測される（問24）。

一方で、鬼怒中学校区や水海道西中学校北地区では、外出をしていない理由として「外出する場所がない（少ない）から」が、石下中学校区では「外出する場所が自宅から遠いから」の割合が高いことから、これらの地区においては、外出の目的となる場の創出・拡大や趣味のサークル活動等の開催場所の見直し等により、高齢者の外出を促進することが重要である。

また、水海道西中学校北地区及び南地区では、「移動手段がない（少ない）から」「一緒に出かけてくれる人がいない（少ない）から」の割合が他地区に比べ高くなっていることから、買い物時の移動支援と同様、乗り合いで一緒に移動するといった取り組みが重要であると考えられる。

② 日常生活の支援における「地域人財」の活用

高齢者の日常生活における困りごとは、庭の手入れから家の掃除、電球の交換まで多岐にわたり、特に一人暮らし世帯では各項目に対する割合が高い傾向にあるが（問25）、約半数が「自力で何とかしている」現状にある（問26）。年齢が上がるとつれて、「自力で何とかしている」割合は低下し、家族や親戚の手助けの割合が高くなっている。

一方で、近くに住む住民、友人・知人、ボランティア、シルバー人材センターのサービス等については、日常生活の困りごとを解決する「地域人財」として活用できる余地が残されていることが分かる。

従って、介護保険サービスや民間事業者等による日常生活支援サービスの利用促進と併せて、これらの地域人財を地域福祉の担い手として積極的に登用・活用し、地域全体で高齢者の日常を支える社会の形成・構築が期待される。特に、鬼怒中学校区では「解決できずに困っている」の割合が他地区に比べてやや高いことから、優先的に上記の取り組みを推進していくことが重要であると考えられる。

③ 適切な情報提供の実施

日常生活や福祉に関する情報の入手元は「市の広報誌・パンフレット」が各属性で50%～60%程度となっており（問28）、主要な情報入手ツールとして機能している。また、「テレビ・ラジオ」「新聞・雑誌」等の一般的なメディアの他、「家族・親戚」「友人・知人」「近隣に住む人」等、face to faceによる情報共有の割合も高くなっている。

従って、民生委員やケアマネージャー等が高齢者の自宅を訪問した際には、高齢者やその家族等への情報提供が重要である。また、高齢者のニーズが高い内容としては「健康」や「医療」といった自身の身体に関すること、年金に関することが上位となっており、これらに関して、より積極的な発信が必要である。加えて、75歳～89歳では、「在宅ケア、介護・介助、家事援助等の生活上の世話」「心配事・悩み事に関する相談」の項目で年齢が上がるとつれて割合が高くなる等、属性による違いも見られるため、広報誌に掲載する内容の見直しや拡充、民生委員・ケアマネージャー等との連携強化を図り、属性のニーズに応じた情報提供を実施していくことが重要である。

高齢者の生活支援に関するアンケート調査へのご協力をお願い

日頃から常総市介護保険事業等にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
常総市では、平成30年3月に「常総市高齢者プラン（老人福祉計画改定・第7期介護保険事業計画）」を策定し、同計画において介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）を実施することとしています。

本調査は、総合事業を円滑かつ効果的に展開するため、市内の高齢者の日常生活に関する困りごとを把握することを目的として実施するものです。本アンケート調査票は、常総市内における75歳以上を対象に、一人暮らし世帯や高齢者のみ世帯の方々等を中心として抽出しお送りしております（9月13日現在の住民基本台帳のデータをもとに確認してお送りしておりますが、宛名の方がいらっしゃらない場合はご容赦ください）。

本調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、本アンケート調査票は常総市個人情報保護条例に基づき、適切な管理をいたします。

ご回答いただいた内容は、総合事業実施のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年9月
常総市長 神達 岳志

<記入要領>

- ・回答に当たっては、特に指定がない限り、平成30年9月1日現在の状況についてお答えください。
- ・回答は、「✓は1つだけ」、「あてはまるもの全てに✓」等の条件に従い、選択肢の前にある□に✓を記入してください。

【解答例】

問1. あなたの性別をお答えください。(✓は1つだけ)

☒ 男性 ☐ 女性

アンケートの記入が終わりましたら、無記名のまま同封の返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに平成30年10月20日までにポストに投函してください。

【このアンケート調査への問い合わせ・提出先】

〒303-8501
常総市水海道諏訪町3222番地3
常総市役所 保健福祉部 高齢福祉課 在宅福祉係
電話 番号 0297-23-2930 (直通)
ファックス番号 0297-20-1900
メールアドレス hokatsu@city.joso.lg.jp

※ご記入にあたって※

調査票に記入されたのはあなたですか。(✓は1つだけ)

☐ 宛名のご本人 ☐ 宛名の方のご家族 ☐ 民生委員、ケアマネジャー等
※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人
(この調査票の対象者)の状況についてお答えください。

はじめに、あなた自身のことについて、お尋ねします。

問1. あなたの性別をお答え下さい。(✓は1つだけ)

☐ 男性 ☐ 女性

問2. あなたの年齢をお答え下さい。(平成30年9月1日現在)

歳

問3. あなたがお住まいの地域をお答え下さい。(✓は1つだけ)

☐ 水海道 ☐ 豊岡 ☐ 菅原 ☐ 大花羽 ☐ 三妻
☐ 五箇 ☐ 大生 ☐ 坂手 ☐ 内守谷 ☐ 菅生
☐ 石下 ☐ 豊田 ☐ 玉 ☐ 岡田 ☐ 飯沼
☐ その他(具体的に:)

問4. あなたの健康状態をお答え下さい。(✓は1つだけ)

☐ 良い ☐ まあまあ良い ☐ あまり良くない ☐ 良くない

問5. あなたの介護認定区分をお答え下さい。(✓は1つだけ)

☐ 要支援1 ☐ 要支援2
☐ 要介護1 ☐ 要介護2 ☐ 要介護3 ☐ 要介護4 ☐ 要介護5
☐ 認定を申請中 ☐ 認定を受けていない ☐ 分からない

問6. 現在の世帯構成をお答え下さい。(あてはまるもの全てに✓)

☐ 一人暮らし ☐ 夫婦のみの世帯 ☐ 子ども世帯と同居
☐ その他(具体的に:)

問7. 同居者の介護認定区分、障がい者手帳の保有状況をお答え下さい。(あてはまるもの全てに✓)

☐ 要支援1 ☐ 要支援2 ☐ 要介護1 ☐ 要介護2 ☐ 要介護3
☐ 要介護4 ☐ 要介護5 ☐ 認定を申請中 ☐ 認定を受けている同居者はいない
☐ 障がい者手帳等を保有 ☐ 分らない

問8. 平成30年9月1日現在の、運転免許の保有状況をお答え下さい。(✓は1つだけ)

☐ 免許を持っており、今のところ返納の予定はない
☐ 免許を持っていないが、今後1年以内に返納する予定である
☐ 免許をすでに返納した
☐ もともと免許を持っていない

次に、普段の買い物状況について、お尋ねします。

問9. 普段の「買い物のための外出」はどのくらいですか。(✓は1つだけ)

☐ ほぼ毎日 ☐ 週1～3回 ☐ 週1回程度 ☐ 月1～2回程度

☐ その他(具体的に:) ☐ 買い物のための外出はしていない

問10. 買い物をする際の同行者はどなたですか。(あてはまるもの全てに✓)

☐ 配偶者 ☐ 子ども ☐ 兄弟姉妹(義理の兄弟姉妹含む)

☐ その他の親戚 ☐ 友人・知人 ☐ ヘルパー(訪問介護)

☐ その他(具体的に:) ☐ 同行者はいない

問11. あなたが最もよく買い物に出かける時間は何時ごろですか。記入例を参考に記入ください。

【記入例】(午前) 10 時ごろ

午前 午後 時ごろ

問12. 普段の買い物でよく買う品目はどれですか。(あてはまるもの全てに✓)

☐ 生鮮食品(肉・魚・野菜) ☐ 他の食料品 ☐ 日用品・雑貨

☐ 衣類 ☐ その他(具体的に:)

問13. 自宅から一番近くにある生鮮食品を売っているお店をお答え下さい。(✓は1つだけ)

☐ 地元の商店街の個人商店 ☐ 商店街以外の個人商店 ☐ スーパーマーケット

☐ 大型ショッピングセンター ☐ ホームセンター ☐ ドラッグストア(薬局)

☐ コンビニエンスストア ☐ その他(具体的に:)

問14. 問13で答えたお店までは、自宅から徒歩で行くとすれば何分くらいですか。(✓は1つだけ)

☐ ~5分くらい ☐ ~10分くらい ☐ ~15分くらい

☐ ~20分くらい ☐ 20分以上

問15. 問13で答えたお店はよく利用していますか。(✓は1つだけ)

☐ 利用している ☐ 利用していない

問16. 問15で「利用していない」と答えた方にお尋ねします。その理由をお答え下さい。

(あてはまるもの全てに✓)

☐ 移動手段が少ないから ☐ 値段が高いから ☐ 欲しい食品が売っていないから

☐ 生鮮食品の鮮度が悪いから ☐ 営業日や営業時間帯が合わないから

☐ その他(具体的に:)

問17. 生鮮食料品の買い物で、一番よく利用するお店はどこですか。(✓は1つだけ)

☐ 地元の商店街の個人商店 ☐ 商店街以外の個人商店 ☐ スーパーマーケット

☐ 大型ショッピングセンター ☐ ホームセンター ☐ ドラッグストア(薬局)

☐ コンビニエンスストア ☐ その他(具体的に:)

問18. 問17で答えたお店までは、自宅から徒歩で行くとすれば何分くらいですか。(✓は1つだけ)

☐ ~5分くらい ☐ ~10分くらい ☐ ~15分くらい

☐ ~20分くらい ☐ 20分以上

問19. あなたが普段買い物をする際の移動手段は何ですか。(あてはまるもの全てに✓)

☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ バイク ☐ 鉄道

☐ 自動車(自分で運転) ☐ 自動車(家族の運転) ☐ 自動車(家族以外の方の運転)

☐ 福祉タクシー ☐ デマンドタクシー ☐ 民間タクシー ☐ 路線バス

☐ 他市のコミュニティバス ☐ その他(具体的に:)

問20. あなたが普段の買い物で困っていること、または不便だと感じingことはなんですか。

(あてはまるもの全てに✓)

☐ 買いたい品物を買っている店が近くにないこと

☐ バスや鉄道等の公共交通機関が利用しにくいこと

☐ バスや鉄道等の公共交通機関の利用料金が高いこと

☐ 重い物が持てないため一度に少量しか購入できない(できなくなる)こと

☐ バス等の乗降が体力的にきつい(きつくなる)こと

☐ 家族等の協力ができない、行きたい時に買い物ができないこと

☐ 買い物を手伝ってくれる家族・知人・ボランティア等がないこと

☐ 民間タクシーの利用料金が安いこと

☐ デマンドタクシーの予約が埋まっていると利用したいときに利用できないこと

☐ デマンドタクシーで行きたいところまで行けないこと

☐ デマンドタクシーを予約するときの手続きが煩わしく感じる

☐ 耳が遠いため、デマンドタクシーの手配がうまくできないこと

☐ 道路やお店に階段や段差・傾斜があり、危ないこと

☐ 街灯が少なく、夜間の買い物物が危ないこと

☐ 買い物先までの道や買い物先に、ベンチや休憩所等の休めるところが少ないこと

☐ その他(具体的に:)

☐ 特に困っていることはない

問21. あなたは買い物環境を改善するために、どんなことが必要だと思いますか。

(あてはまるもの全てに✓)

☐ 住居の近くへのお店の誘致 ☐ 住居の近くのお店の商品の充実

☐ 公共交通機関(バスや鉄道)の充実 ☐ ベンチや休憩所等の設置

☐ 公共交通機関やタクシー等の利用料金への補助

☐ 買い物に行きたいお店への移動支援(送迎サービス)

☐ 移動販売(行商等)の充実 ☐ 宅配サービスの充実

☐ 家族・知人・ボランティア等の協力 ☐ ヘルパー(訪問介護)等の支援

☐ デマンドタクシーの利便性向上 ☐ 街灯や防犯カメラの整備

☐ 道路やお店のバリアフリー化の推進・促進

☐ その他(具体的に:)

☐ 特にない

続いて、日常生活全般について、お尋ねします。

問22. 普段の「病院や診療所への通院」のための外出はどのくらいですか。(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ ほぼ毎日 ☐ 週1～3回 ☐ 週1回程度 ☐ 月1～2回程度
☐ その他(具体的に:) ☐ 通院のための外出はしていない

問23. あなたが普段、買い物や通院以外で外出するのはどこですか。(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ 趣味のサークル活動のための施設 ☐ 公園 ☐ 居酒屋・飲食店
☐ 家族・親戚の家 ☐ 友人・知人の家 ☐ 寺社・教会等
☐ 娯楽・遊技施設(パチンコ店等) ☐ スポーツ施設 ☐ 入浴施設
☐ その他(具体的に:)

☐ 買い物や通院以外の外出はしていない

問24. あなたが普段、買い物や通院以外の外出をしていない理由をお答え下さい。

(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ 移動手段がない(少ない)から ☐ 移動するのにお金がかかるから
☐ 出かけた場所が自宅から遠いから ☐ 出かけると体が疲れやすいから
☐ 出かけた場所がない(少ない)から ☐ 出かける気力がわかないから
☐ 人と会うのがおっくうだから ☐ 家族の事情(介護等)があるから
☐ 一緒に出かけてくれる人がいない(少ない)から
☐ その他(具体的に:) ☐ 特に理由はない

問25. あなたが日常生活を送る上で困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ 食事の準備・片付け ☐ 部屋の掃除・片付け ☐ 風呂・トイレ等の掃除
☐ 衣服の洗濯・片付け ☐ ゴミの分別・ゴミ出し ☐ 買い物
☐ 近所への外出 ☐ 遠い場所への外出 ☐ 電球の交換
☐ 布団干し ☐ 年末の大掃除 ☐ 季節の衣服入れ替え
☐ 薬の管理 ☐ 通院 ☐ 預貯金の出し入れ・支払い等
☐ 花や木の水やり ☐ 庭の手入れ ☐ 犬の散歩等のペットの世話
☐ その他(具体的に:) ☐ 特に困っていることはない

問26. 問25で日常生活の困りごとに1つ以上チェックをした方にお尋ねします。

その困りごとはどのように解決していますか。(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ 家族や親戚の手助け ☐ 近くに住む人の手助け
☐ 友人・知人の手助け ☐ ボランティアの手助け
☐ シルバー人材センターのサービス ☐ 介護保険等のサービス
☐ 民間事業者のサービス ☐ 自力で何とかしている
☐ その他(具体的に:) ☐ 解決できずに困っている

問27. あなたの日常生活を支援してくれる人はいいますか。(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ 普段の生活を支援してくれる人がある ☐ 病気や緊急時に支援してくれる人がある
☐ 支援してくれる人がいない

問28. あなたは日常生活や福祉に関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ 家族・親戚 ☐ 近隣に住む人 ☐ 友人・知人
☐ 市の広報誌・パンフレット ☐ その他のパンフレット ☐ 民生委員
☐ 市のホームページ ☐ その他のホームページ ☐ 市役所の担当課
☐ 地域包括支援センター ☐ 社会福祉協議会 ☐ 医療機関
☐ ケアマネジャー・デイサービス等の介護保険サービス事業者
☐ テレビ・ラジオ ☐ 新聞・雑誌 ☐ チラシ・折り込み広告
☐ インターネット・携帯電話(スマートフォン含む)
☐ その他(具体的に:)
☐ 特になし

問29. あなたの日常生活に関する情報で、もっと発信・充実してほしい内容はどれですか。

(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ 健康づくり ☐ 地域の行事・催事 ☐ 社会福祉、ボランティア活動
☐ 介護用品 ☐ 普段の食事に関すること(配食、宅配)
☐ 趣味 ☐ スポーツ ☐ 年金 ☐ 医療
☐ 教養講座の受講等の学習活動、文化的な催し物
☐ 住まい(高齢者向け住宅の供給・増改築・手直し等)
☐ 在宅ケア、介護・介助、家事援助等の生活上の世話
☐ 心配事・悩み事に関する相談 ☐ その他(具体的に:)
☐ 特になし

最後に、常総市役所の高齢者に関する取り組みについてお尋ねします。

問30. 常総市は高齢者にとって住みやすいまちだと思いますか。(あてはまるもの全てに ✓)

- ☐ そう思う ☐ ややそう思う ☐ どちらとも言えない
☐ あまりそう思わない ☐ 全くそう思わない

問31. 問30でお答えいただいた理由をご記入ください。

質問は以上です。ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、平成30年10月20日までに、切手を貼らずにポストに投函してください。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

